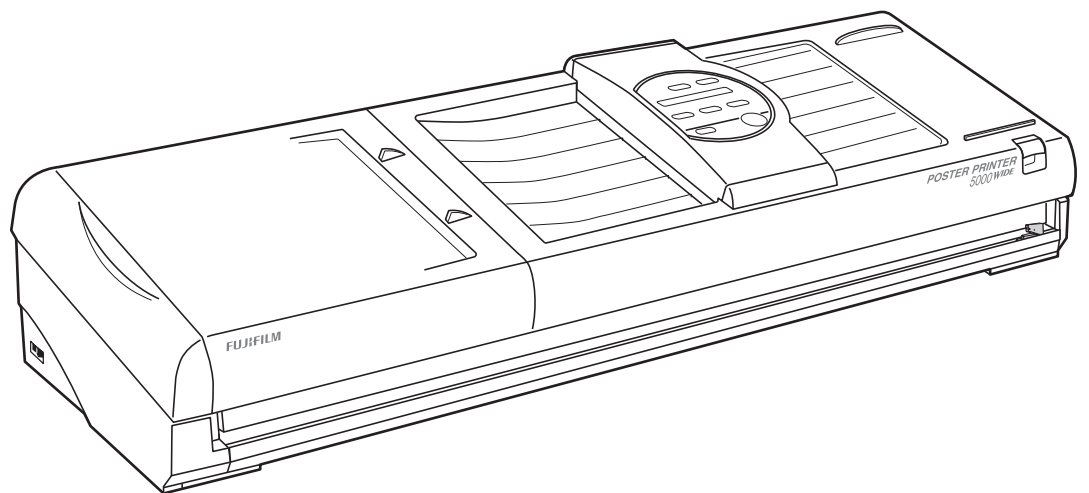


FUJIFILM

取扱説明書

POSTER PRINTER 5000 WIDE



第4版

SP551

はじめに

このたびは、FUJIFILM POSTER PRINTER 5000 WIDE (以下、PP5000WIDEと表記)をお買上げいただき、ありがとうございました。PP5000WIDEの機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書はいつでもご利用できるよう装置のそばに置き、大切に保管してください。

保証と補修用性能部品について

保証について

保証書に、必ずお買上げ日・販売店名などが記入されていることをご確認ください。

故障に際して、「保証書」の提示がございませんと保証期間内でも有料修理となりますので、保証書の記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保証期間は、製造打切後7年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品をいいます。

この取扱説明書の中で❗️⚠️と表記されている事項は、安全にご使用頂くために注意していただくマークです。取扱説明書の指示を必ずお守りください。

熱転写紙とHDペーパー[※]の使用済みインクフィルム、HDペーパー[※]の受像紙は、産業廃棄物となります。

廃棄の際は、お持ちの処理設備で処理されるか、許可を得た「専門の処理業者」に委託して、処理してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

※ 注) HDペーパーは販売終了商品です。

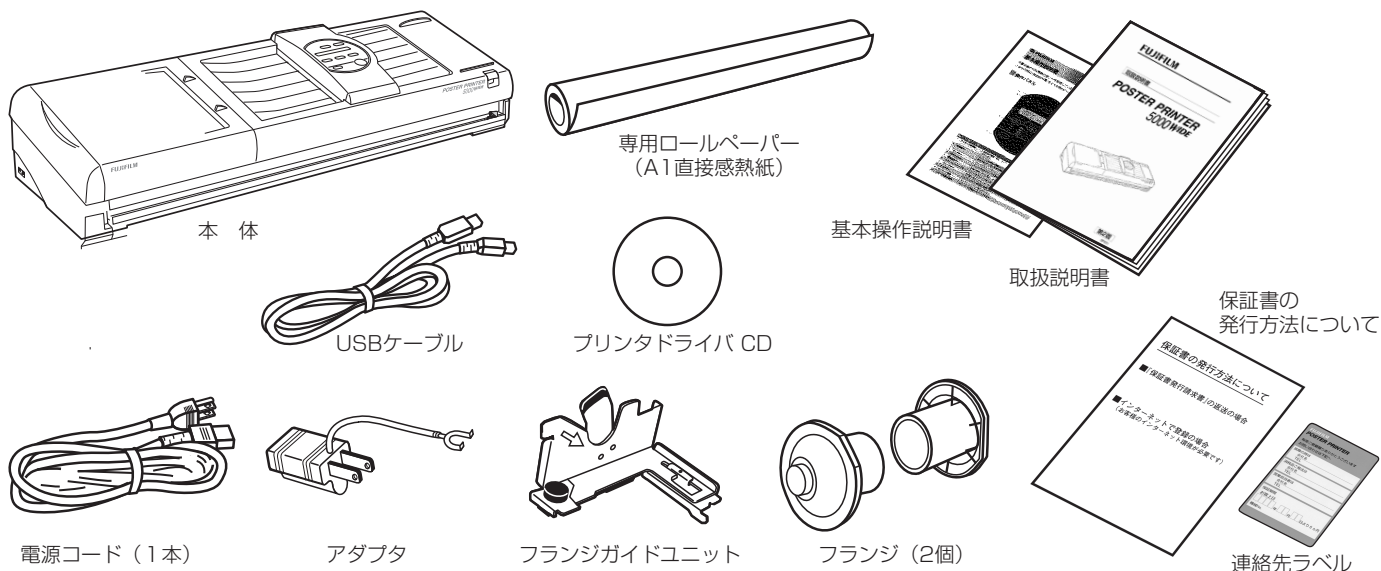
目次

目次	1
1. お使いになる前に	2
■ 付属品の確認	2
■ 開梱時の注意	2
■ 設置スペース	3
■ パソコンの接続	3
■ 電源コードの接続	3
■ 安全上のご注意	4
■ 正しくお使いいただくためのお願い	6
■ 本機の特長	8
2. 各部の名称	10
■ 前面	10
■ 背面	10
■ スキャナー部	11
■ プリンター部	11
■ 操作パネル	12
3. プリントを行なう前に	14
■ 記録紙をセット（A1サイズの場合）	14
4. 基本的な使い方	16
■ 標準モードプリント	16
■ 写真モードプリント	18
■ 反転モードプリント	19
5. 各種サイズのプリント	20
■ 部分拡大プリント	20
■ 拡大シートの作り方	22
■ 分割プリント	24
■ 記録紙より小さくプリント	26
■ 長尺原稿からのプリント	27
■ マルチプリント	28
6. 機能設定モード	30
■ 機能設定項目の選択方法	30
■ 記録紙種類の設定	31
■ 部分拡大機能の設定	31
■ 拡大サイズの設定	32
■ 原稿濃度の設定	33
■ 記録紙カットの設定	34
■ ネットワークの設定	35
1. 自動設定	35
2. 手動設定（マニュアル）	36
■ 条件設定項目及び内容	38
■ 条件設定方法	39
7. 記録紙について	40
■ 種類と特長	40
■ 種類/サイズ一覧	40
■ 取扱上のご注意	41
■ 熱転写紙とHDペーパーの インクフィルムのはがし方	41
8. 読み取り/プリント領域	42
■ 読み取り可能領域（原稿はA4サイズ）	42
■ プリント可能領域	42
9. こんなときには	43
■ こんなメッセージが表示されたら	43
■ 正常に動作しないときには	44
10. 清掃方法	46
■ 各部の清掃方法	46
■ プリンター部	46
■ スキャナー部	47
■ 仕様	48
■ 索引	49

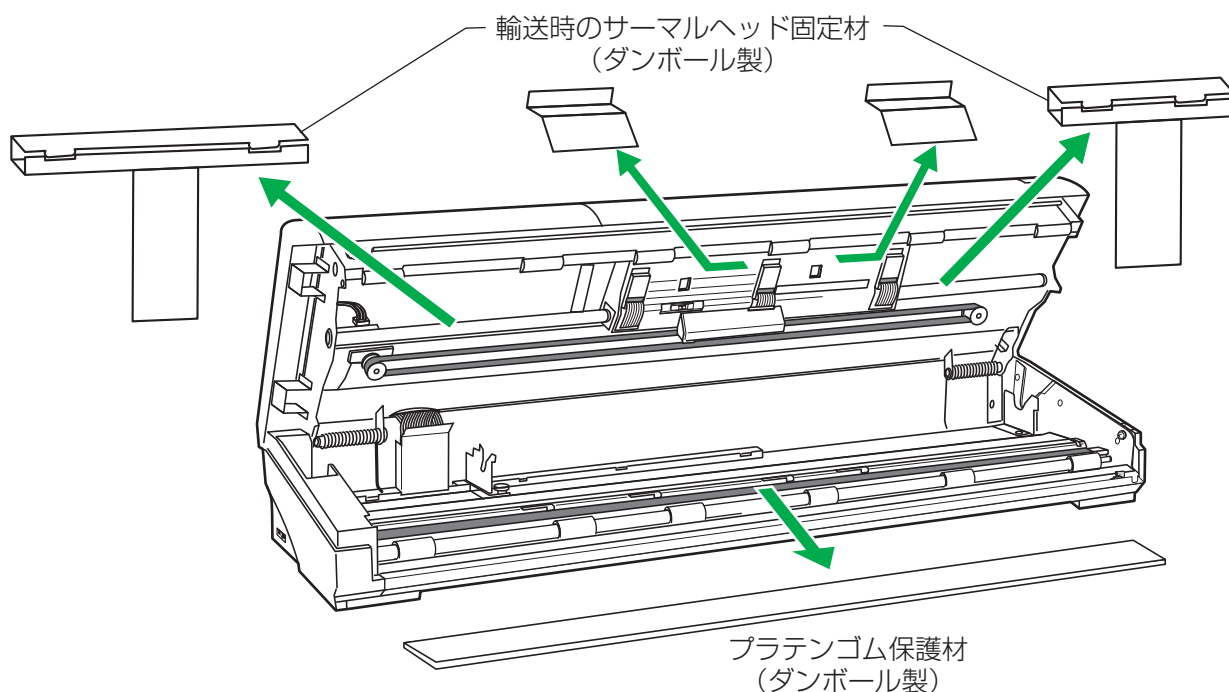
お使いになる前に

付属品の確認

開梱に際しては必ず本体及び付属品のあることを確認してください。



開梱時の注意

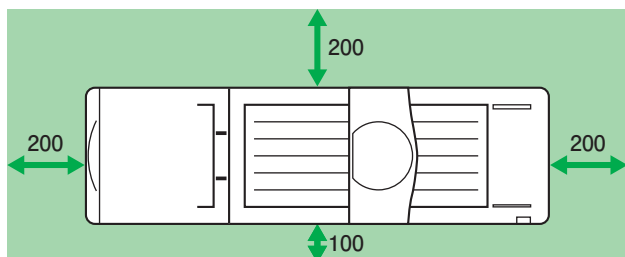


！ 注意

- 電源を入れる前に必ず、サーマルヘッド固定材（ダンボール製）、プラテンゴム保護材（ダンボール製）を取り除きご使用ください。
- 輸送する場合には、サーマルヘッド固定材、プラテンゴム保護材を取り付けてください。

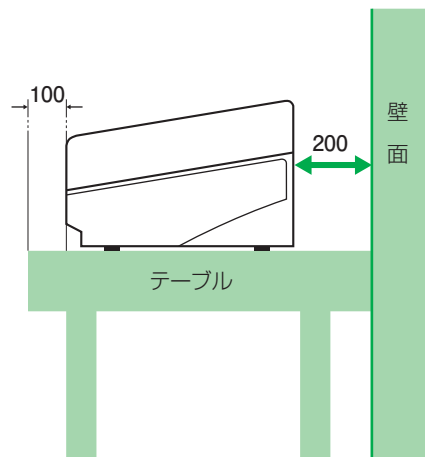
■ 設置スペース

機械の性能を維持するために、下図のような設置スペースを確保してください。(単位：mm)
弊社では、専用スタンド(オプション)を用意致しておりますのでご利用をおすすめします。



注意

本体は重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

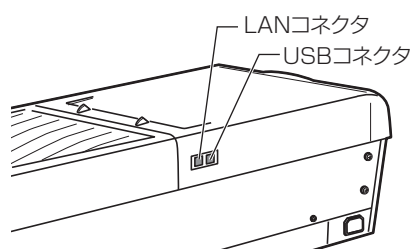


■ パソコンの接続

PP5000WIDEはUSBとLANの2つのインターフェースを標準装備しています。
オンラインプリンタとしてご使用の場合は、ケーブルの接続、プリンタドライバのインストールを行なってください。

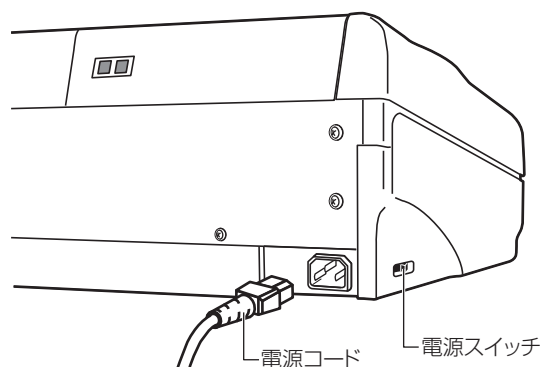
→プリンタドライバCD内の「POSTER PRINTER 5000 WIDE プリンタドライバ取扱説明書」を参照。

ネットワークプリンタとしてご使用の場合は、本書のP.35, 「ネットワークの設定」を参照してください。

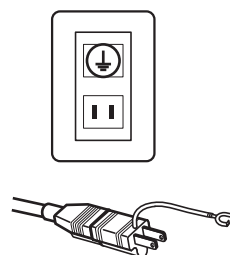


■ 電源コードの接続

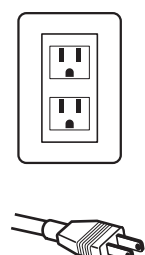
本体に電源コードを接続します。



電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。



2Pコンセントの場合
本体付属品のアダプタ
をご使用ください



3Pコンセントの場合



注意

1. 電源コードを接続する場合は、必ず本体側から接続してください。
2. アース線は必ずアース端子に接続してください。

安全上のご注意

POSTER PRINTER 5000 WIDEを正しく安全にお使いいただくために

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

指示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度は、次の表示で区分されています。



警告

この表示欄には、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」指示が記載されています。



注意

この表示欄には、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」指示が記載されています。

お守りいただく具体的内容は、次の絵表示で区分されています。(下記は絵表示の一例です。)



してはいけない「禁止」指示です。

⓪ の中や近くに具体的な禁止内容が書かれています。



必ず実行していただく「強制」指示です。

㊦ の中や近くに具体的な指示内容が書かれています。

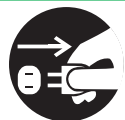
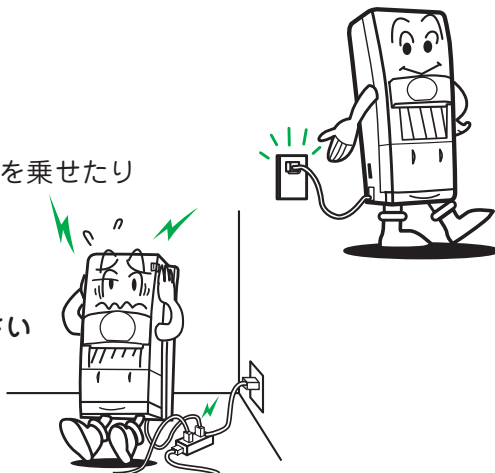


警告



禁 止

- 指定以外の電源は使用しないでください
火災、感電の恐れがあります。
▶ 定格100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードを傷つけないでください
傷つけたり、破損したり、加工したり、重いものを乗せたりすると火災、感電の恐れがあります。
- タコ足配線をしないでください
火災、感電の恐れがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください
感電の恐れがあります。
- カバーを外さないでください
感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く

- 電源コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください
引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電の恐れがあります。
- 異常(発熱・発煙・異臭など)が発生した場合は、すぐに本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください
そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
▶ お買い上げの販売店に連絡してください。
- 異物(金属片・水・液体)が機器の内部に入った場合は、本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください
そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
▶ お買い上げの販売店に連絡してください。





■ 必ず、アース線接続を行なってください

接地接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行なってください。又、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行なってください。

漏電した場合は、火災、感電の恐れがあります。

▶ アース線接続ができない場合は、お買い上げの販売店に相談してください。



■ 絶対に分解や改造をしないでください

火災、感電の恐れがあります。

▶ 故障の場合は、本体の電源を切り電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

⚠ 注意



■ 不安定な場所に置かないでください

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 通気孔を塞がないでください

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■ 機器の上に花瓶・植木鉢・コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください

水などがこぼれて本体にかかったり、内部に金属物が入ると、火災、感電の原因となることがあります。

▶ お買い上げの販売店に連絡してください。

■ 湿気やほこりの多い場所では使用しないでください

火災、感電の原因となることがあります。

■ 通気孔から異物（金属類や燃えやすいものなど）を機器の内部に差し込んだり、押しこんだりしないでください

火災、感電の原因となることがあります。

■ 機器の上に重いものを置かないでください

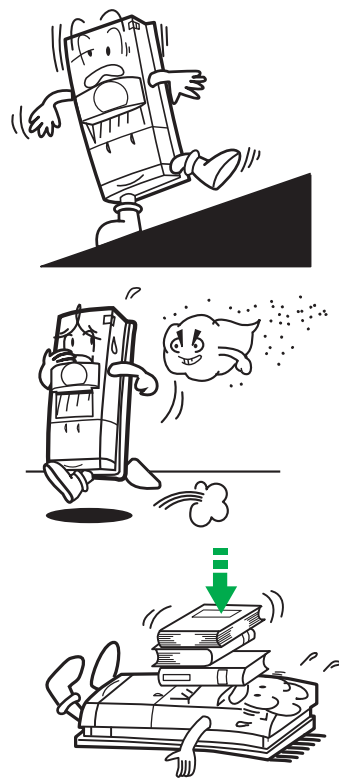
落ちて、けがの原因となることがあります。

■ 持ち運びは無理をしないでください

開梱や持ち運びは必ず2人以上で行なってください。けがの原因となることがあります。

■ 本機及びスタンドを無理に押ししたり傾けたりしないでください

倒れて、けがの原因となることがあります。



■ 落としたり、カバーを破損した場合は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください

そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

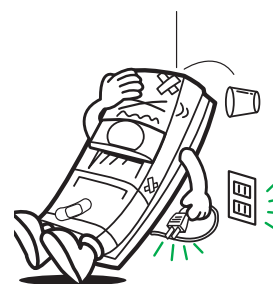
▶ お買い上げの販売店に連絡してください。

■ 機器を移動させる場合は、必ず本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

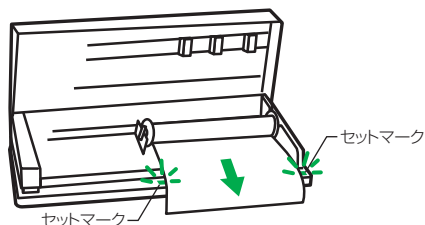
■ 連休などで長期間使用しないときは、本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください

漏電により、火災の原因となることがあります。

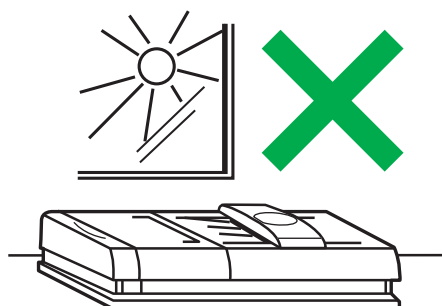


正しくお使いいただくためのお願い

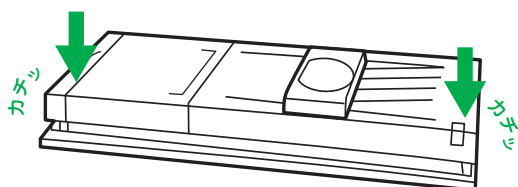
- 記録紙のセットは先端部をまっすぐに引き出し、たるみのないようにして左右のセットマークに合わせてください。



- 直射日光の当たる場所、冷暖房機の近くやほこりの多い場所には、置かないでください。



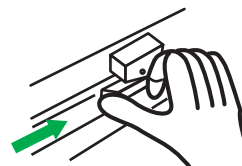
- プリンターカバーは、両端をゆっくり押して、両端を確実に閉めてください。
- プリンターカバー開閉時には、電源をお切りください。



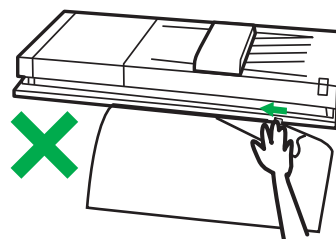
- プリント中は特にプリンターカバー、スキャナーカバーを強く押しつけないでください。
- プリント中に記録紙を引っ張らないでください。プリント品質への影響を及ぼします。



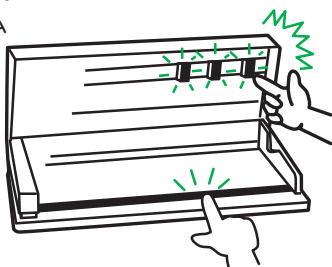
- カッターを手で動かす場合は、図示の部分を押し、右側の停止位置に動かしてください。上側を持つと破損の恐れがあります。



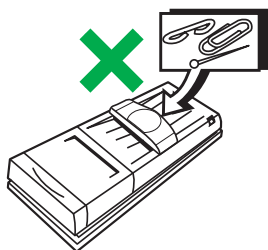
- カッター動作中のカッターに手を触れないでください。カッターの破損やけがをする恐れがあります。



- プリント直後のサーマルヘッドは熱を持っていますので、注意してください。
- プラテンゴムを傷つけないように注意してください。
また、プラテンゴムの表面をアルコールなどの溶剤で拭かないでください。



- 機器内に、ピン、クリップなどの異物を入れないでください。



- お手入れの際は、柔らかい乾いた布を使用してください。
- 研磨剤入りのクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
(変形、変色の原因となることがあります。)
- サーマルヘッドを清掃する場合は無水エタノール以外は絶対に使用しないでください。



- イニシャライズ中及び、プリント動作中に電源スイッチを切り、そのまま放置すると印字不良の原因となります。
- 電源スイッチを切る場合は、必ず「コピーできます」表示が点灯している状態で行ってください。

本機の特長

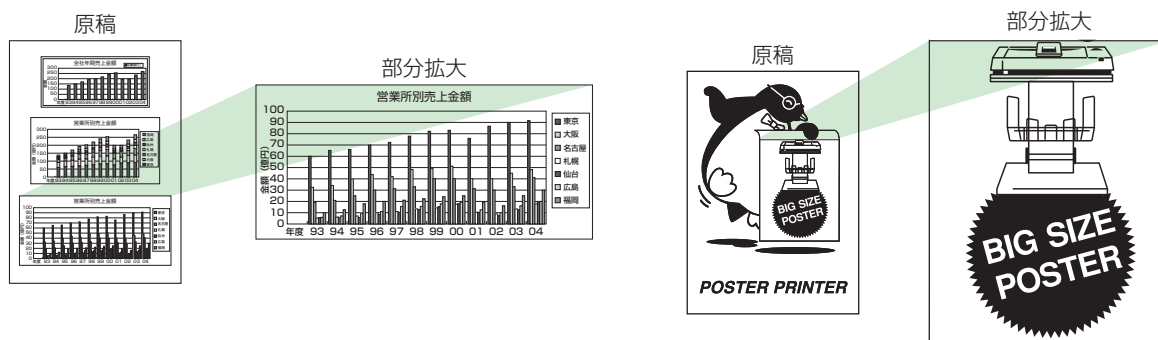
1 初めての方にも素早く簡単に、A4原稿から高画質の拡大プリントが作れます。



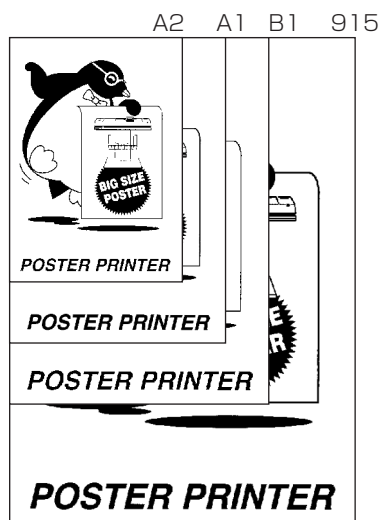
2 長尺原稿も同じ操作で、横断幕・立て看板が簡単に作れます。



3 部分拡大プリント機能で、原稿の一部分から簡単に拡大プリントが作れます。

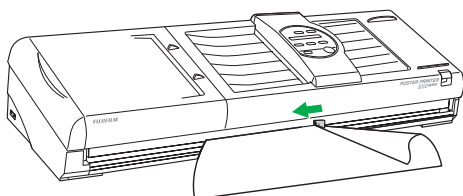


- 4** 915mm、B1、A1、A2幅の記録紙が使用できますので、目的に合ったサイズの拡大プリントが作れます。

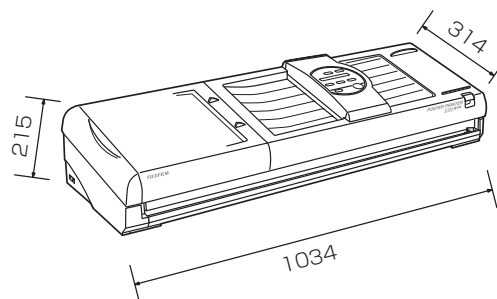


- 5** 用途に合わせた各種、各色の記録紙が揃っています。
- 直接感熱紙
ランニングコストが安く、室内での使用に適しています。
 - 熱転写紙
普通紙タイプの記録紙です。画像の変色が少なく長期の掲示に適しています。

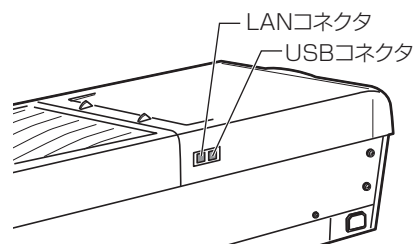
- 6** オートカッターを搭載。
プリント終了後、記録紙を自動的にカットするオートカッターを装備しています。



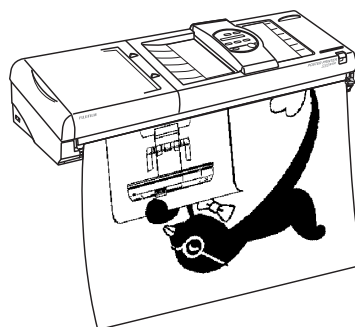
- 7** プリンタとスキャナが一体型で小型軽量、小さなスペースでも設置可能です。



- 8** パソコンからプリントができます。
- USB2.0とLAN10Base-T/100Base-TXに対応していますので、パソコン単体及びネットワークでのプリントができます。
プリンタドライバはWindows2000/XP/Vista(32bit)/Windows7(32bit)に対応しています。
 - USBコネクタとLANコネクタは本体背面に配置していますので、接続をして使用してください。

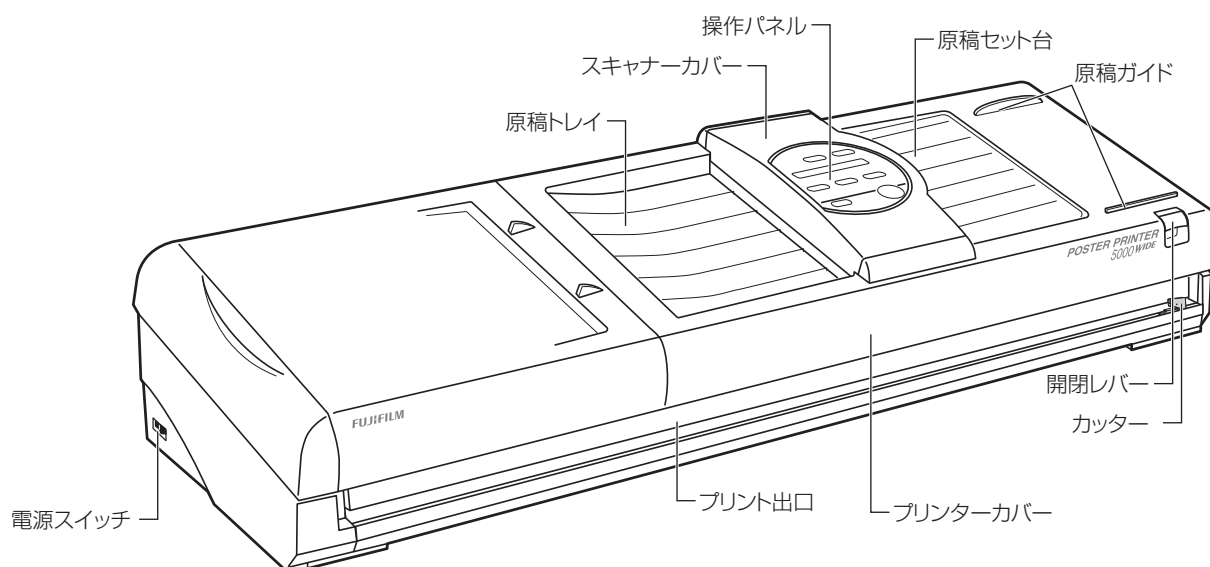


- 9** 1枚の原稿から最大99枚までの高速マルチプリントができます。

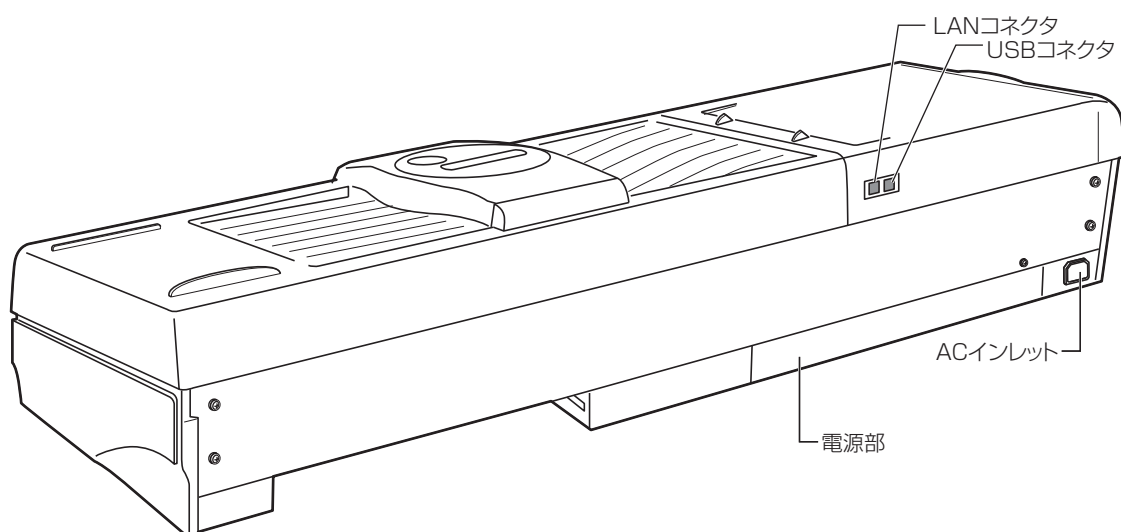


環境にやさしい部品を使用しています。
有害化学物質が少ないRoHS対応部品を使用した環境配慮商品です。

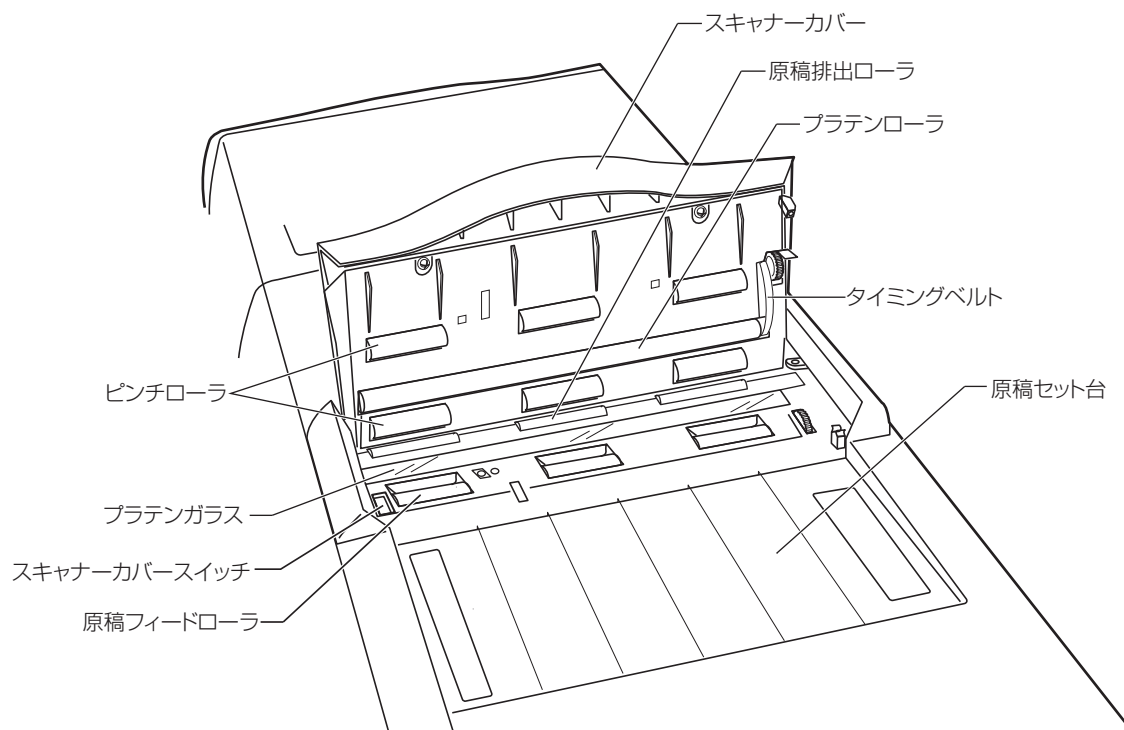
前面



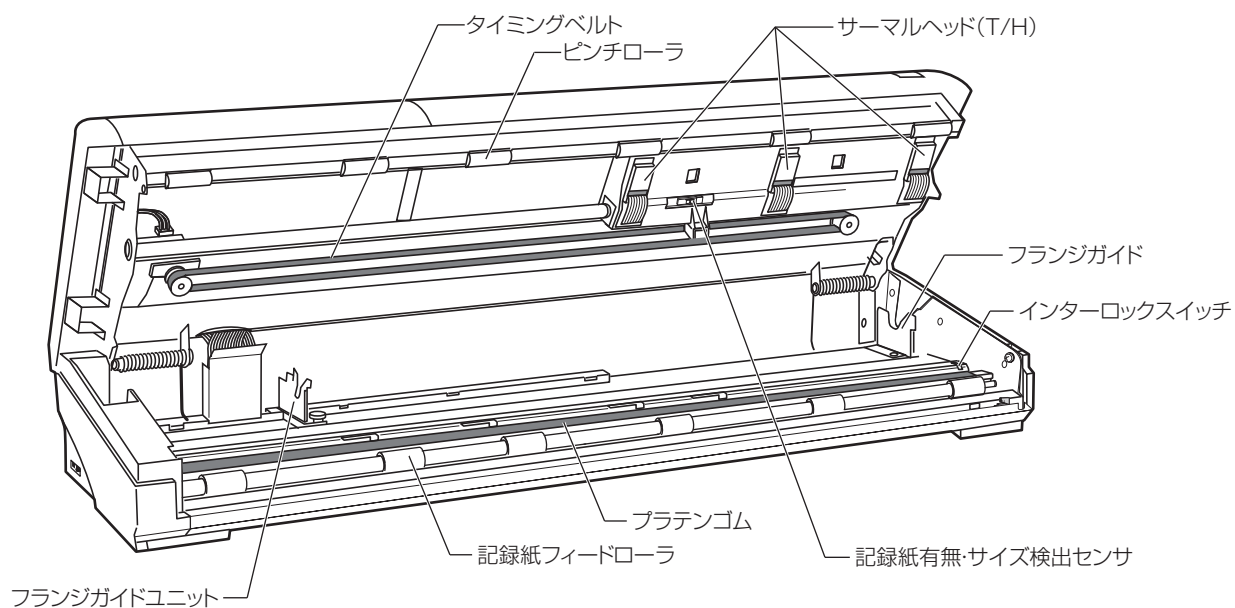
背面



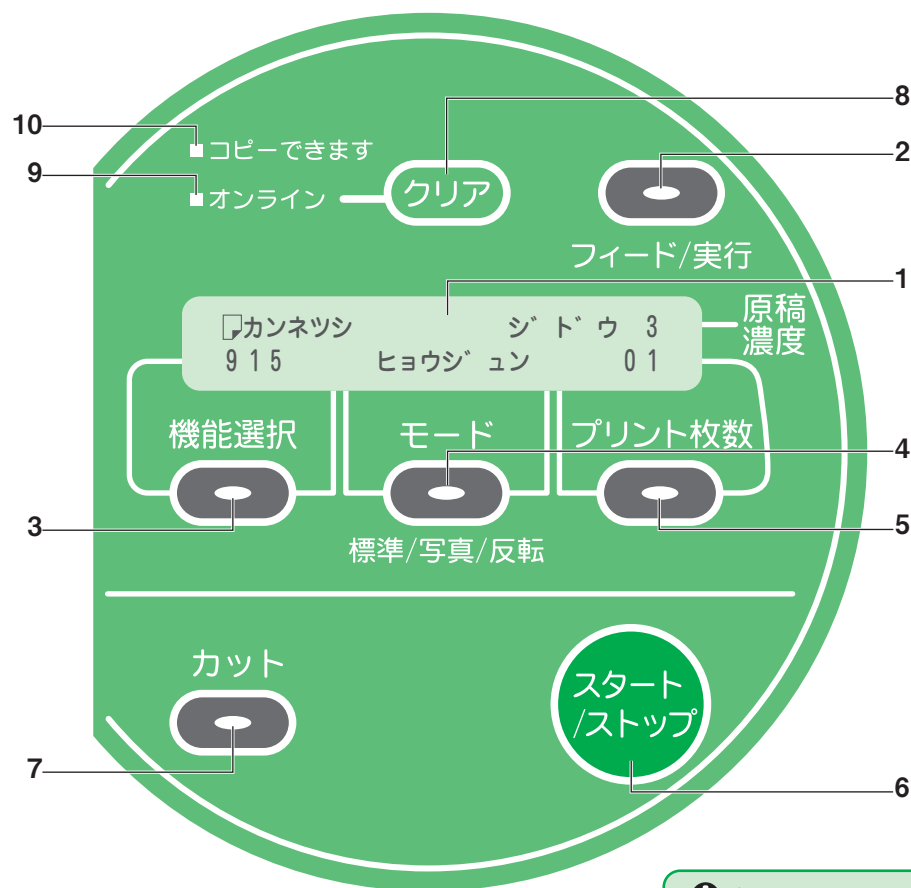
■ スキャナー部



■ プリンター部



操作パネル

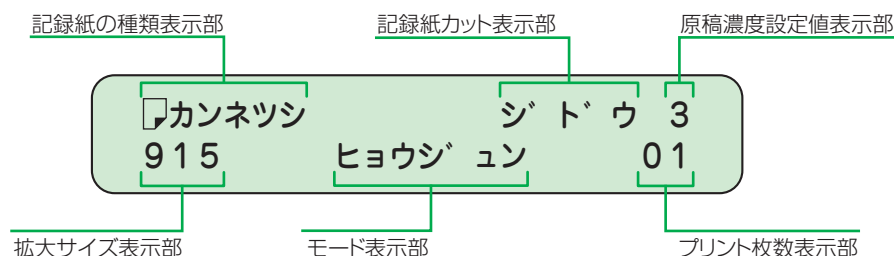


❗ 注意

ご使用の前にパネルの保護シートをはがしてください。

No.	名 称	は た ら き
1	メッセージ表示部	記録紙の種類、プリントモード、拡大サイズ、原稿濃度、カット動作、エラーメッセージなどを表示します。
2	フィード／実行キー	●用紙を送るときに押します。 ●各種機能を設定するときに押します。
3	機能選択キー	本体の各種機能を設定します。P30,「機能設定モード」を参照。
4	モードキー	プリントモードの設定をします。(ヒョウジュン/シャシン/ハンテンの順に表示)
5	プリント枚数キー	プリント枚数を設定します。
6	スタート／ストップキー	プリントのスタート、または、停止するときに押します。
7	カットキー	用紙をカットする場合に押します。
8	クリアキー	●オンライン操作中のクリアを行ないます。 ●各種機能の設定を終了するときに押します。
9	「オンライン」表示	オンラインプリント中に点灯します。
10	「コピーできます」表示	点灯している状態でプリントができます。

メッセージ表示部の内容



記録紙について

記録紙の種類と設定

直接感熱紙（カンネツシ）・熱転写紙（テンシャシ）が準備されています。
用途に合わせ使用してください。

→P40,「記録紙について」を参照。

●直接感熱紙

ランニングコストが安く、室内での使用に適しています。

●熱転写紙

普通紙タイプの記録紙です。画像の変色が少なく長期の掲示に適しています。

用紙の設定方法は

→P31,「記録紙種類の設定」を参照。

記録紙カットについて

- プリント終了後の用紙カットを自動カット、手動カットのいずれかに設定します。
- オンラインプリントの場合はコンピュータで用紙カットを設定してください。

記録紙のカット設定は

→P34,「記録紙カットの設定」を参照。

プリント枚数設定について

- 「プリント枚数」キーで枚数を設定します。
「プリント枚数」キーを1回押す毎に1カウントアップします。
- 枚数の設定を間違った場合は「クリア」キーを押して再度設定して下さい。

モードについて

モード	表示部	使用原稿
標準	ヒョウジュン	文字原稿の場合に使用します。
写真	シャシン	写真原稿の場合に使用します。
反転	ハンテン	白黒を反転させてプリントする場合に使用します。

拡大サイズについて

本体にセットされている記録紙のサイズにより次の順に設定されます。

→P32,「拡大サイズの設定」を参照。

記録紙のサイズ	拡大サイズ
A 2	A2→B3
A 1	A1→B2→A2→A0×2(■)→A0×2(■)
B 1	B1→A1→B2→A2→B0(■)→B0(■)
915	915→A0→B1→A1→B2

原稿濃度について

* 原稿濃度の設定は、5段階の濃度に設定できます。

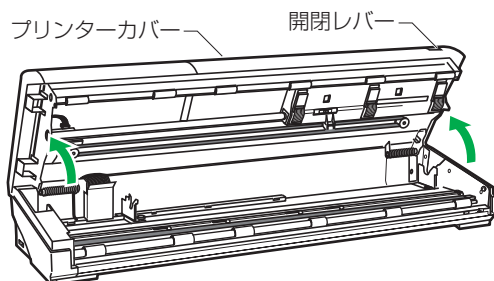
→P33,「原稿濃度の設定」を参照。

番号	原稿濃度
1	うすい原稿の場合に設定
2	ややうすい原稿の場合に設定
3	ふつうの原稿の場合に設定
4	ややこい原稿の場合に設定
5	こい原稿の場合に設定

プリントを行なう前に

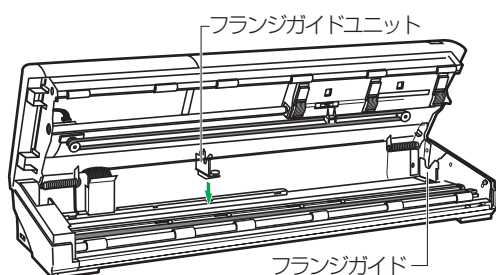
記録紙をセット (A1サイズの場合)

- 1** 開閉レバーを解除し、プリンターカバーを止まるまで静かに開けます。

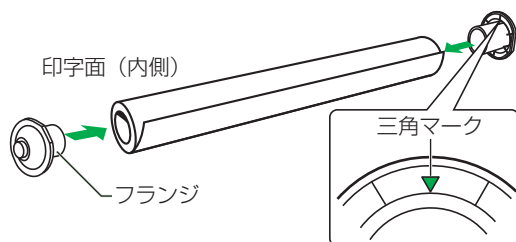


- 2** フランジガイドユニットをA1サイズに合わせ、セットします。

→P15,「フランジガイドユニットの取り扱い」を参照。



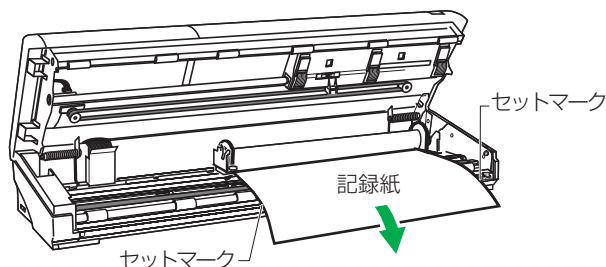
- 3** 記録紙の両端にフランジを取り付けます。フランジの三角マークは、記録紙の残量目安のマークです。



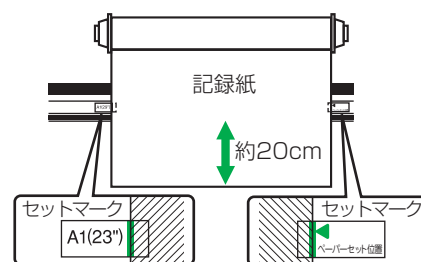
マーク先端からの残量

直接感熱紙 約6m
熱転写紙 約8m

- 4** 本体に記録紙をセットします。
図のように記録紙の先端部分を下側にし、セットします。

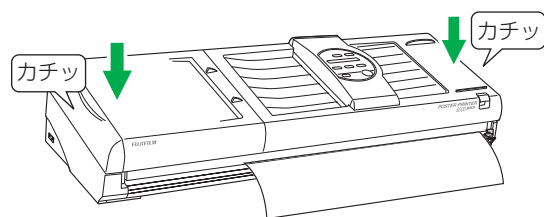


- 5** 記録紙を正しくセットマークに合わせます。
図のように記録紙の先端部を約20cmまっすぐに引き出し、たるみのないように引っ張りながら左右のセットマークに合わせます。



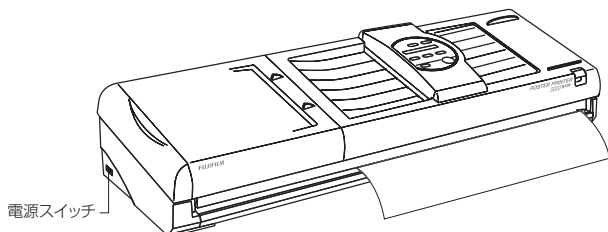
記録紙が正しくセットされていないと、
画像が斜めにプリントされたり、シワ
が発生することがあります。

- 6** プリンターカバーの両端を持ってをゆっくりと確実に閉めます。
両端が完全に閉まったことを確認してください。



電源を入れた状態でプリンターカバーを開閉すると、初期動作を行ない、記録紙を約45mm自動的に排出します。

7 電源スイッチを入れます。

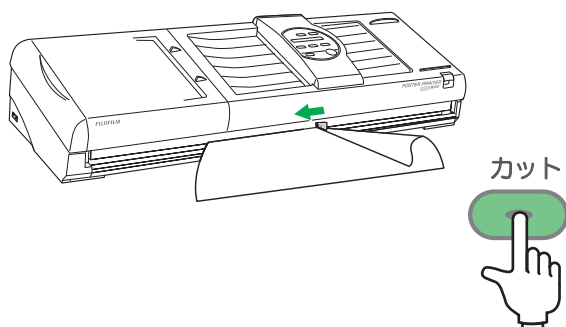


① 注意

初期動作中及びプリント途中では、電源を切らないでください。

8 記録紙をカットします。

カットキーを押して、カットしてください。



① 注意

カッター動作中はカッターに触れないでください。けがやカッター破損の原因となります。

9 記録紙の種類を設定します。

本体にセットされている記録紙の種類に設定します。
→P31,「記録紙種類の設定」を参照。

カンネツシ・テンシヤシのいずれかを設定します。

☒カンネツシ シ'ド'ウ 3
A1 ヒョウシ' ユン 01



① 注意

セットされている記録紙の種類に正しく設定しない場合は正常な濃度でプリントができません。

10 記録紙のカット方法を設定します。

プリント終了後の用紙を自動カットまたは手動カットのいずれかに設定します。
→P34,「記録紙カットの設定」を参照。

ジド'ウ・シユド'ウいずれかを設定します。

☒カンネツシ シ'ド'ウ 3
A1 ヒョウシ' ユン 01

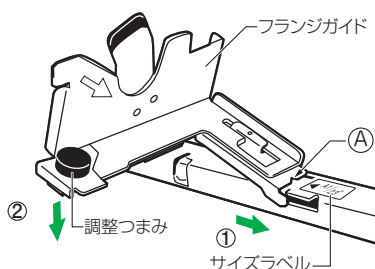


自動カット設定の場合：プリント終了後、自動でカットします。
手動カット設定の場合：プリント終了後は、記録紙をカットしません。[カット]キーを押してカットします。

フランジガイドユニットの取り扱い

本体へのセット方法

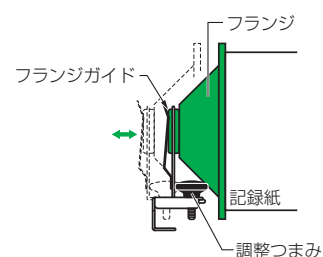
① ②の順でセットします。



フランジガイドの調整

フランジを取り付けた記録紙がフランジガイドに入らなかったり、外れてしまう場合、調整つまみをゆるめフランジガイドを左右に動かして、記録紙が正常にセットできる位置で固定します。

正しいセット位置



基本的な使い方

標準モードプリント

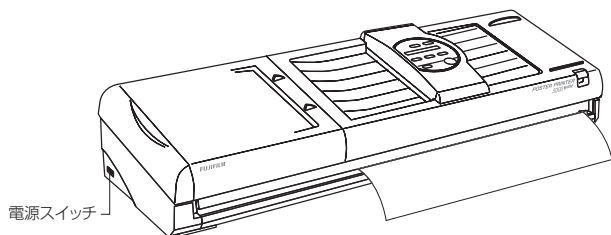


原稿



標準モードプリント

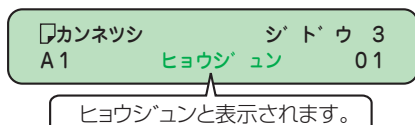
1 電源スイッチを入れます。



❗ 注意

初期動作中及びプリント途中では、電源を切らないでください。

2 プリントモードを標準にします。 [モード] キーを押して、標準モードを設定します。



ヒョウジュンと表示されます。

ヒョウジュン
シャシン
ハンテン



3 記録紙の種類を設定します。 本体にセットされている記録紙の種類に設定します。 →P31,「記録紙種類の設定」を参照。

カンネツシ・テンシャシのいずれかを設定します。

カンネツシ シ' ト' ウ 3
A1 ヒョウジ' ユン 01

記録紙設定画面

キロクシ シュルイーシ' ッコウ
カンネツシ H

カンネツシ・テンシャシのいずれかを設定します。



❗ 注意

セットされている記録紙の種類に正しく設定しない場合は正常な濃度でプリントできません。

4 拡大サイズを設定します。 プリントする拡大サイズを設定します。 →P32,「拡大サイズの設定」を参照。

カンネツシ シ' ト' ウ 3
A1 ヒョウジ' ユン 01

拡大サイズが表示されます。

A1
B2
A2
A0×2 (■)
A0×2 (■)



5 原稿濃度を設定します。 原稿の濃淡に合わせて設定します。 →P33,「原稿濃度の設定」を参照。

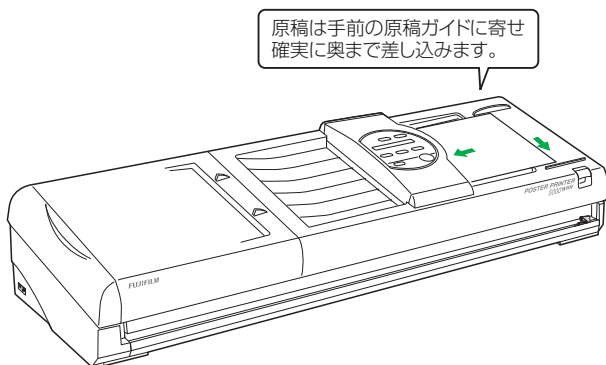
原稿濃度に合わせて数値を設定します。

カンネツシ シ' ト' ウ 3
A1 ヒョウジ' ユン 01

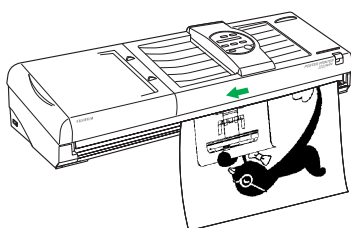


薄めの原稿は、「2. ややうすい」に設定 (□-*-■)
・鉛筆書きた原稿のように文字や画像自体がややうすい場合
濃いめの原稿は、「4. ややこい」に設定 (□-***■)
・新聞のように紙の色自体がやや黒っぽい場合

6 スキャナに原稿面を下向きにしてセットします。



7 [スタート/ストップ] キーを押します。 原稿が読み込まれ、プリントが開始されます。



.....
プリントを途中で中止する場合は、
再度、[スタート/ストップ] キーを
押します。
.....

スタート
/ストップ



8 プリント終了後、記録紙をカットします。

→P34,「記録紙カットの設定」を参照。

自動カット設定の場合、自動でカットされます。



手動カット設定の場合、[カット]キーを押して、
カットします。

手動カット表示。

カンネツシ A1 シュト'ウ 3 ヒョウジ' ユン 01

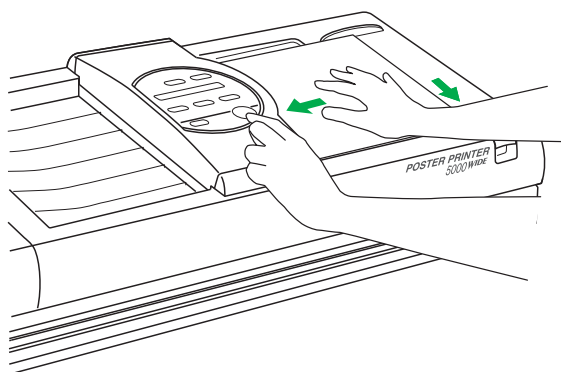
カット



スタート/ストップキーを押しても原稿が送られず、 「ゲンコウナシ マタハ ハンソウフリョウ」が発生した場合

原稿を挿入方向に軽く突き当てながら、再度、[スタート/ストップ] キーを押します。

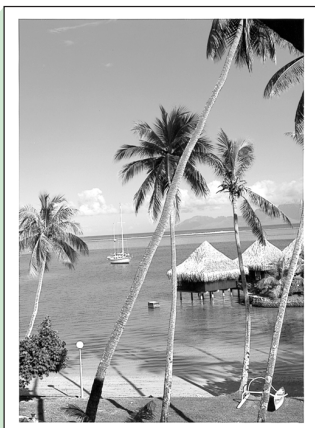
.....
原稿を奥に突き当たるまで差し込まないと、エラーが発生
することがあります。
.....



写真モードプリント



原稿



写真モード

写真モードでの注意

- プリント上に周期的にタテ、ヨコの線が発生することがありますが異常ではありません。
- カラー写真等からプリントする場合、黄色い部分の再現性が悪くなることがあります。
- 熱転写紙の場合はややコントラストが高くなります。

4

- 1** プリントモードを「写真」にします。
[モード] キーを押して、写真モードプリントに設定します。

☐カンネツシ シ' ト' ウ 3
A1 シャシン 01

シャシンと表示されます。

ヒョウジュン
シャシン
ハンテン

モード



- 2** 記録紙の種類を設定します。
本体にセットされている記録紙の種類に設定します。
→P31,「記録紙種類の設定」を参照。

カンネツシ・テンシャシンのいずれかを設定します。

☐カンネツシ シ' ト' ウ 3
A1 シャシン 01

機能選択



① 注意

セットされている記録紙の種類に正しく設定しない場合は正常な濃度でプリントできません。

- 3** 拡大サイズ、原稿濃度を設定します。
→P32,「拡大サイズの設定」を参照。
→P33,「原稿濃度の設定」を参照。

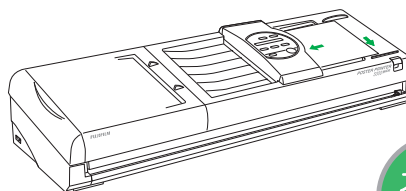
原稿濃度に合わせて数値を設定します。

☐カンネツシ シ' ト' ウ 3
A1 シャシン 01

拡大サイズが表示されます。



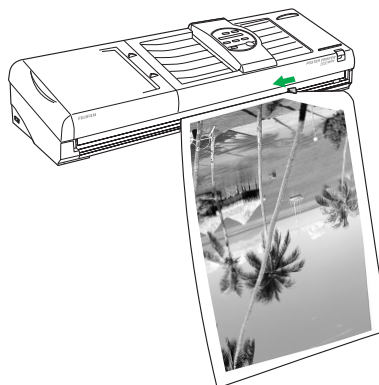
- 4** 原稿をセットして、[スタート/ストップ] キーを押します。



スタート/ストップ



- 5** プリント終了後、記録紙をカットします。
→P34,「記録紙カットの設定」を参照。



① 注意

文字部分の濃度が若干うすくなることがあります。その場合は原稿濃度設定機能で原稿濃度を「2.ややうすい」に設定してください。
プリントの白い部分にドット状のヨゴレのような物が発生することがあります。その場合は原稿濃度を「4.ややこい」に設定してください。

反転モードプリント



原稿



反転モード

- 1 プリントモードを「反転」にします。
[モード] キーを押して、反転モードプリントに設定します。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
A1 ハンテン 01

ハンテンと表示されます。

ヒョウジュン
シャシン
ハンテン

モード



- 2 記録紙の種類を設定します。
本体にセットされている記録紙の種類に設定します。
→P31,「記録紙種類の設定」を参照。

カンネツシ・テンシャシのいずれかを設定します。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
A1 シャシン 01

機能選択



① 注意

セットされている記録紙の種類に正しく設定しない場合は正常な濃度でプリントできません。

- 3 拡大サイズ、原稿濃度を設定します。
→P32,「拡大サイズの設定」を参照。
→P33,「原稿濃度の設定」を参照。

原稿濃度に合わせて数値を設定します。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
A1 ハンテン 01

拡大サイズが表示されます。

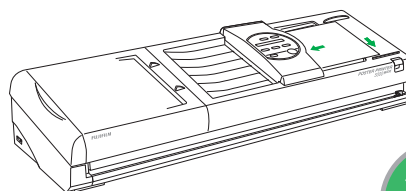
機能選択



反転モードでの注意

- サーマルヘッドの温度を検出して、スピードをコントロールしています。このためプリント途中でスピードが遅くなることがあります。
(メッセージ表示部には、「テイソクモード ドウサチュウ」と表示されます。)

- 4 原稿をセットして、[スタート/ストップ] キーを押します。

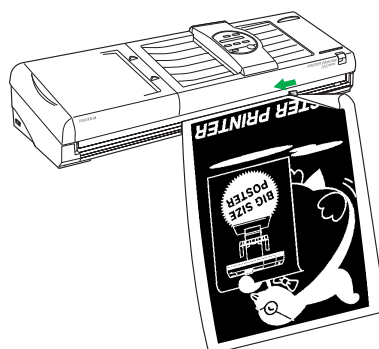


スタート/ストップ



- 5 プリント終了後、記録紙をカットします。
→P34,「記録紙カットの設定」を参照。

- 自動カット設定の場合、自動でカットされます。
- 手動カット設定の場合、[カット] キーを押して、カットします。



部分拡大プリント

原稿の一部分を簡単に拡大プリントします。

部分拡大

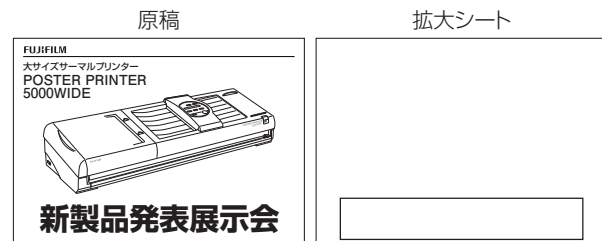


新製品発表展示会

部分拡大プリントでの注意点

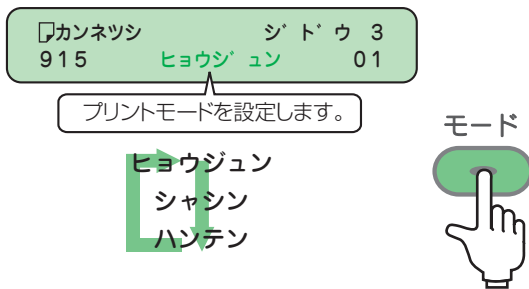
- 分割プリント、マルチプリントはできません。
- 部分拡大プリントが可能な領域は幅50mm～194mm、長さ50mm～1988mmです。
→P22,「拡大シートの作り方」を参照。

1 拡大シートを作ります。



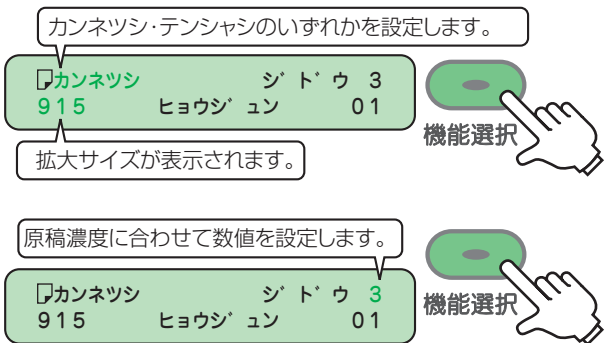
→P22,「拡大シートの作り方」を参照。

2 [モード] キーを押して、プリントモードを設定します。

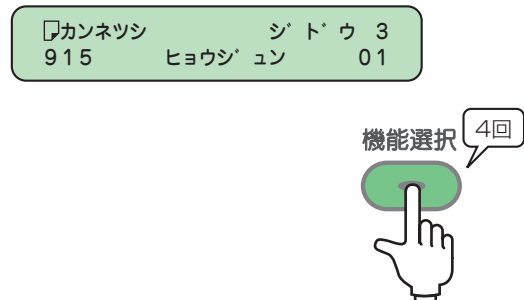


3 記録紙の種類、拡大サイズ、原稿濃度を設定します。

- P31,「記録紙種類の設定」を参照。
- P32,「拡大サイズの設定」を参照。
- P33,「原稿濃度の設定」を参照。

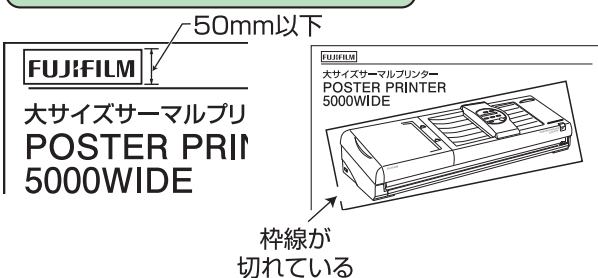


4 初期画面で、[機能選択] キーを4回押します。



拡大シートの読み取り不良が出た場合

ヨミトリハンイ データ エラー
リセット→ストップ キー



拡大シートの枠線が小さすぎたり、読み取り領域外、枠線の濃度が薄い、閉じた枠線を認識できない場合に、読み取り異常を表示します。

[スタート/ストップ] キーを押して、拡大シート読み取り前の状態に戻し、拡大シートを作り直して再度、読み取ってください。

→P22,「拡大シートの作り方」を参照。

5 部分拡大機能の画面で、[実行] キーを押します。

フ' フ' ンカクタ' イ→シ' ッコウ



6 拡大シート 読み取り画面が表示されます。

☐カンネツシ*カクタ' イシート→スタート
915 ヒョウジ' ユン シ' ト' ウ

7 拡大シートをスキャナにセットし、[スタート/ストップ] キーを押します。



8 ヨミトリチュウを表示した後、原稿読み取り画面が表示されます。

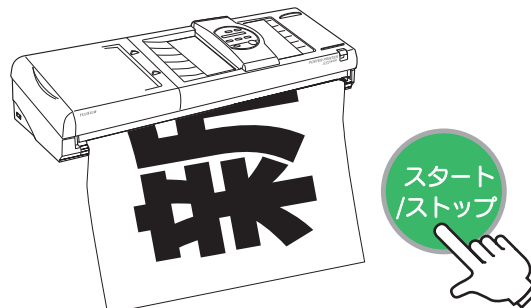
カクタ' イシートデ' ータ ヨミトリチュウ



原稿読み取り画面

☐カンネツシ *ゲ' ンコウ→スタート
915 ヒョウジ' ユン シ' ト' ウ

9 原稿をセットし、[スタート/ストップ] キーを押します。 設定した拡大領域のプリントを開始します。

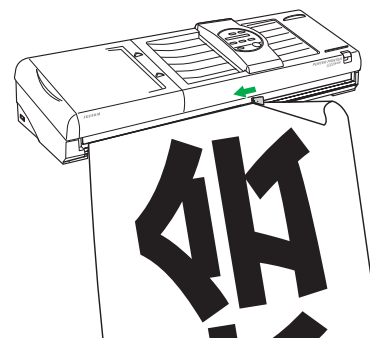


10 プリント終了後、記録紙をカットします。 →P34,「記録紙カットの設定」を参照。

●自動カット設定の場合、自動でカットされます。

●手動カット設定の場合、[カット] キーを押して、カットします。

※同一原稿で、複数枚印字する場合は、再度、原稿をセットし、[スタート/ストップ] キーを押してください。



11 部分拡大機能の解除方法。 [クリア] キーを1回押すと、拡大シートの読み取りデータを解除し、初期画面に戻ります。

☐カンネツシ *ゲ' ンコウ→スタート
915 ヒョウジ' ユン ジ' ト' ウ

カクタ' イシートデ' ータ クリアチュウ

クリア



☐カンネツシ シ' ト' ウ 3
915 ヒョウジ' ユン 01

拡大シートの作り方

拡大シートとは、原稿の拡大したい部分を囲んで、読み取る領域を指定するためのシートのことをいいます。

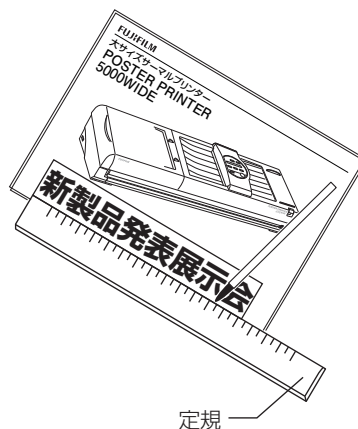
1 原稿と同じサイズの白紙を用意します。



2 原稿の上に白紙の用紙を重ねます。

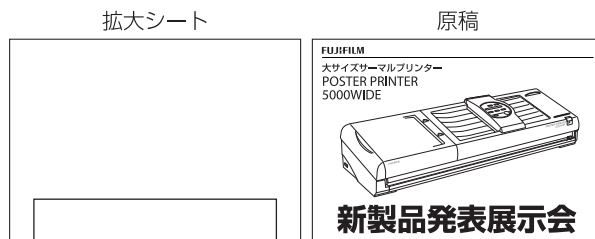


3 拡大プリントしたい部分を黒いペンで囲みます。(50mm×50mm以上で囲んでください)



- 黒線は濃く0.3mm以上の線で描いてください。
- 使用するペンは、にじみの少ないものをご使用ください。
- 拡大シートは、1カ所のための囲みを指定してください。

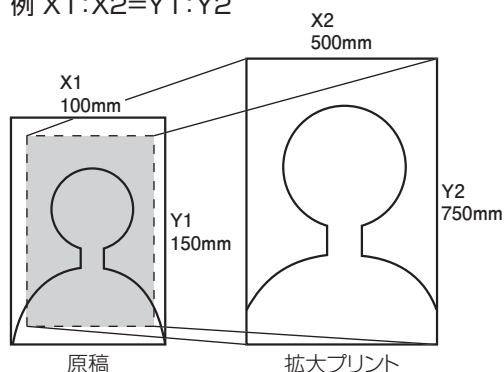
4 拡大シートのできあがり。



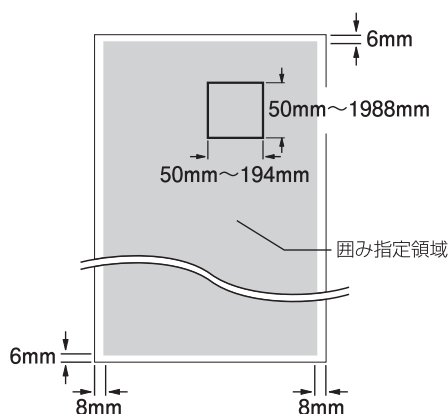
囲み指定エリアと拡大プリントの関係

囲み指定エリアの横幅が拡大プリント幅になります。プリント長はプリント幅の拡大率に応じて拡大されます。

例 $X1:X2=Y1:Y2$

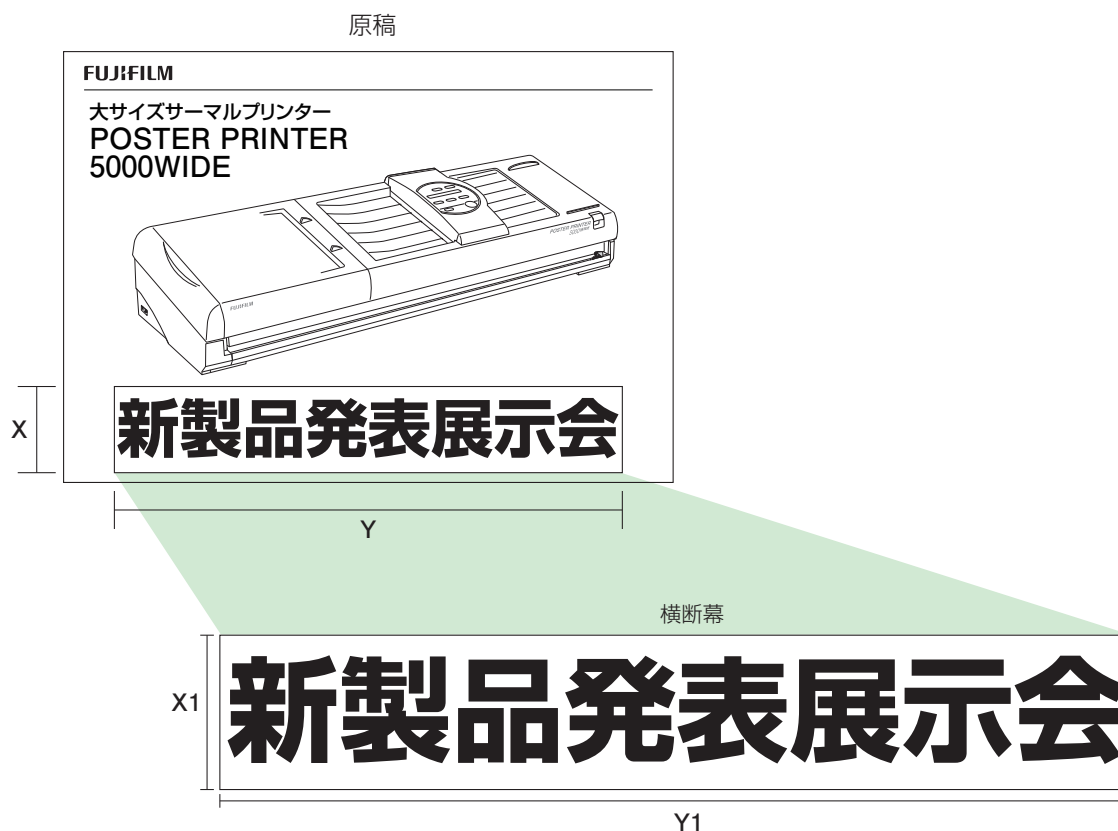


原稿上で部分拡大ができる領域



- 囲み線は文字の部分から5mm以上離してください。
- ペンの始点と終点を閉じてください。閉じない囲み方は囲み部分が認識されません。
- 読み取り可能な原稿サイズは最大、幅210mm、長さ2000mmです。
- 拡大シートの囲み領域は幅50～194mm、長さ50～1988mmです。

拡大プリント例



拡大シートサイズと仕上がりプリントサイズ算出手順

手順1. 拡大率を算出

記録紙の最大プリント幅 (X1) ÷ X (拡大シート幅)

= A (X → X1 の拡大率)

記録紙の最大プリント幅は表1を参照してください。

手順2. 拡大シート長の算出

プリントしたい長さ (Y1) ÷ A (X → X1 の拡大率)

= Y (拡大シート長)

拡大シート作成例

原稿の「新製品発表展示会」の部分を使ってA1記録紙に長さ3mの横断幕を作成する場合の拡大シートの作成方法

手順1. 拡大率を算出

549mm (A1記録紙プリント幅) ÷ 50mm (X) とした場合

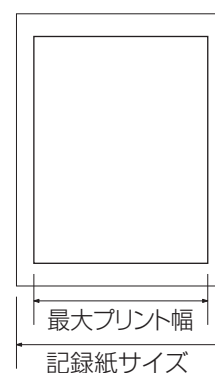
= 約10.9 (拡大率)

手順2. 拡大シート長の算出

3m (Y1) ÷ 10.9 (拡大率) = 275mm (Y: 拡大シート長)

* 表値は標準的な数値です。

拡大シートの送り、原稿の送り、記録紙の送りなどにより変動します。



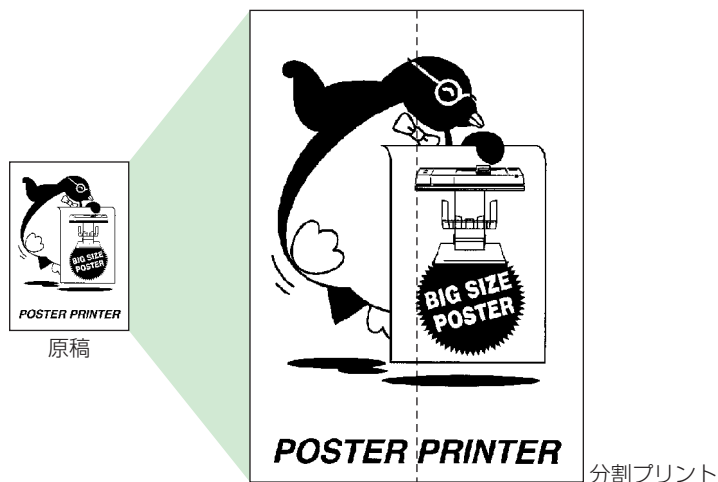
(表1)

記録紙サイズ	最大プリント幅
A2	375
A1	549
B1	680
915	865

分割プリント

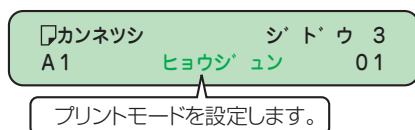
1枚の原稿を2回に分けてプリントして、より大きくプリントすることを「分割プリント」といいます。
A1記録紙ではA0×2, B1記録紙ではB0サイズが分割プリントです。

A1サイズの記録紙を使って、A0×2サイズにプリントする場合



5

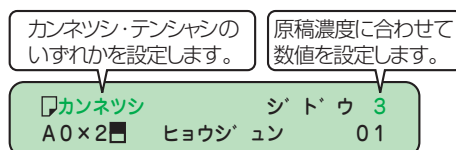
- 1** [モード] キーを押して、プリントモードを設定します。



モード



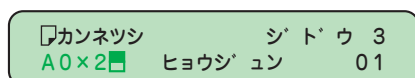
- 3** 記録紙の種類と原稿濃度を設定します。
→P31,「記録紙種類の設定」を参照。
→P33,「原稿濃度の設定」を参照。



機能選択



- 2** 拡大サイズをA0×2に設定します。
→P32,「拡大サイズの設定」を参照。

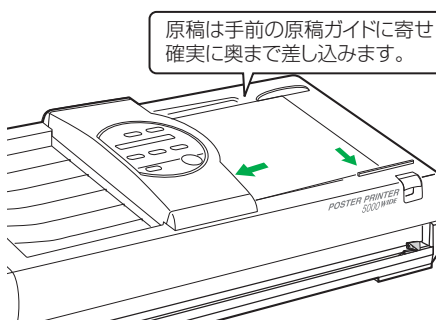


A1
B2
A2
A0×2 (■)
A0×2 (■)

機能選択



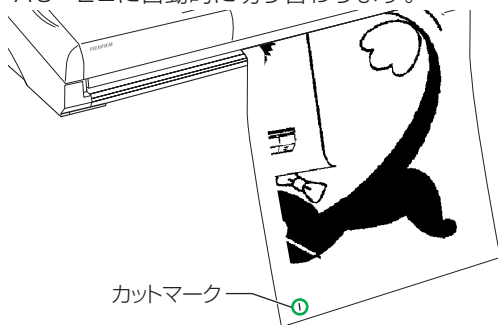
- 4** 原稿をセットして、[スタート/ストップ] キーを押します。



スタート/ストップ

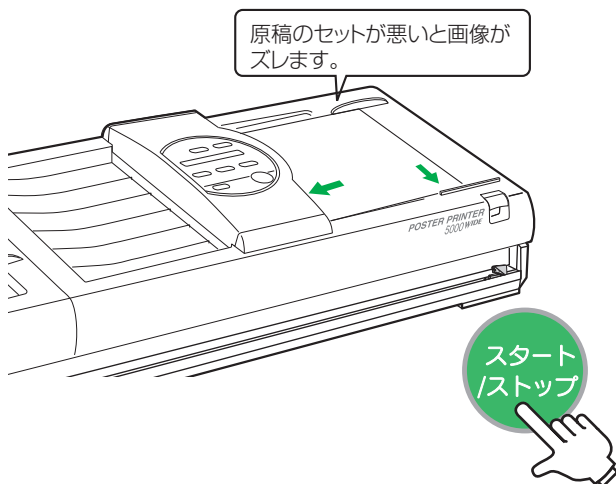


- 5** 原稿の左半分がプリントされます。
プリント後カットします。
プリントが終わるとメッセージ表示部の拡大表示は、
A0×2■に自動的に切り替わります。

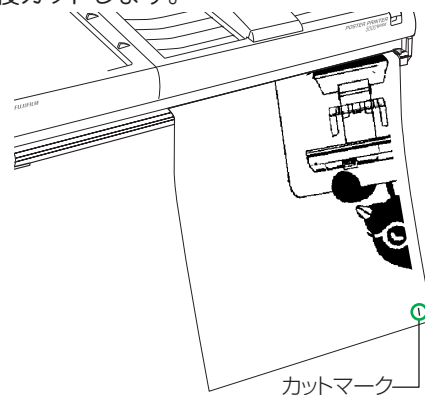


□カンネツシ シ'ト'ウ 3
A0×2■ ヒョウシ' ユン 01

- 6** 再度、同じ方向に原稿をセットして、[スタート/ストップ]キーを押します。



- 7** 原稿の右半分がプリントされます。
プリント後カットします。



分割プリントをする場合は、自動的に
カットマークが印字されます。

- 8** 2枚の分割プリントを貼り合わせます。

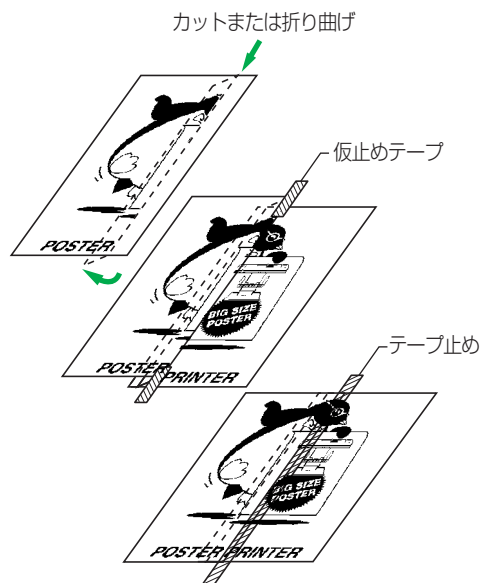
原稿の右半分のみプリント
したい場合は、拡大サ
イズをA0×2■に合
わせて[スタート/ストップ]
キーを押します。
→P32、「拡大サイズの設定」
を参照。



貼り合わせ参考例

1. 片方のプリントのカットマーク2ヶ所に合わせて、
余白部分をカットまたは折り曲げます。
2. カットした側のプリントをもう片側のプリントの
カットマークに合わせ、画像をつなげます。
重ね合わせた両端をテープで仮止めします。
3. 仮止めテープの上から長めのテープを貼り、不要
なテープは後で処理します。

- 貼り合わせテープの種類によっては、画像が変色したり、
うすくなる場合があります。
- カットマークはカット時の目安となるものです。
- 左右の画像合わせが若干ズれる場合がありますが、
その場合は画像を主体に合わせてください。

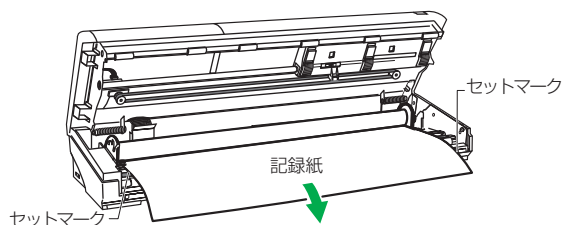


記録紙より小さくプリント

記録紙幅より小さいサイズのプリントをする場合の操作です。

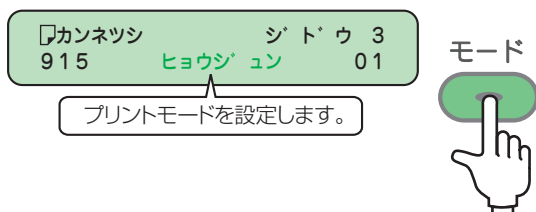
915mmサイズの記録紙を使って、A1サイズにプリントする場合

- 1** 915mmサイズの記録紙をセットします。
→P14,「記録紙をセット」を参照。

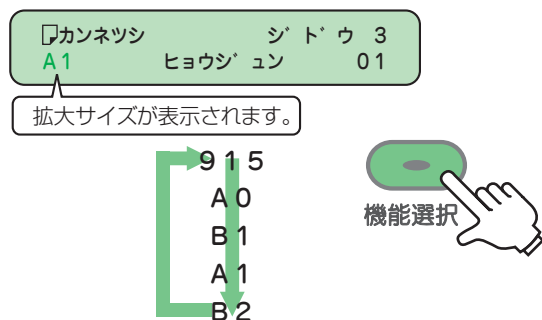


915mm記録紙をセットする場合は、フランチガイドユニットを915サイズのラベル位置にセットします。

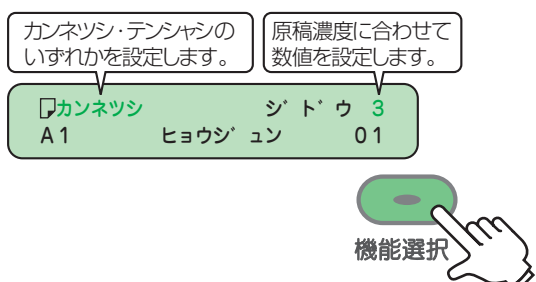
- 2** [モード] キーでプリントモードを設定します。



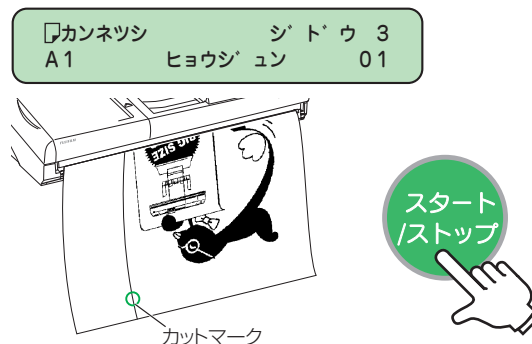
- 3** 拡大サイズをA1に設定します。
→P32,「拡大サイズの設定」を参照。



- 4** 記録紙の種類と原稿濃度を設定します。
→P31,「記録紙種類の設定」を参照。
→P33,「原稿濃度の設定」を参照。

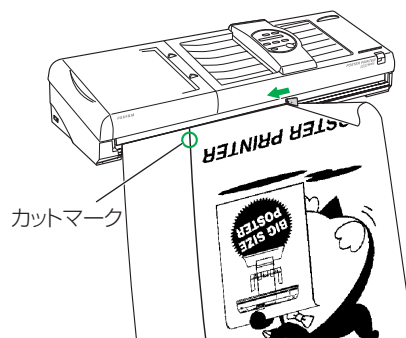


- 5** 原稿をセットして、[スタート/ストップ] キーを押して、プリントします。

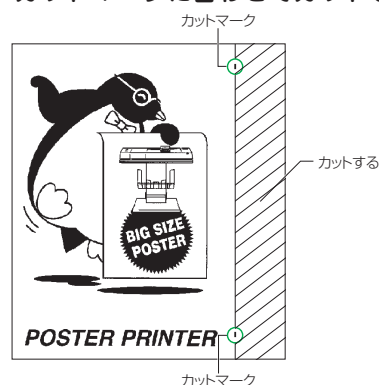


- 6** プリント終了後、記録紙をカットします。
→P34,「記録紙カットの設定」を参照。

- 自動カット設定の場合、自動でカットされます。
- 手動カット設定の場合、[カット] キーを押して、カットします。



- 7** カットマークに合わせてカットします。



長尺原稿からのプリント

長尺原稿から、簡単操作で長尺プリントができます。

新製品発表展示会

長尺原稿

新製品発表展示会

長尺プリント

- 1** [モード] キーを押して、プリントモードを設定します。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
A1 ヒョウジ' ユン 01

プリントモードを設定します。

ヒョウジ' ユン
シャシン
ハンテン

モード



- 2** 記録紙の種類を設定します。
本体にセットされている記録紙の種類に合わせます。
→P31,「記録紙種類の設定」を参照。

カンネツシ・テンシャシのいずれかを設定します。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
A1 ヒョウジ' ユン 01



機能選択

- 3** 拡大サイズ、原稿濃度を設定します。
→P32,「拡大サイズの設定」を参照。
→P33,「原稿濃度の設定」を参照。

原稿濃度に合わせて数値を設定します。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
A1 ヒョウジ' ユン 01

拡大サイズが表示されます。

機能選択



- 4** 原稿をセットして、[スタート/ストップ] キーを押します。



① 注意

長尺サイズプリントの場合、特に原稿が斜めに入らないように注意しながら、奥に原稿が突き当たるまで差し込み、[スタート/ストップ] キーを押します。

スタート/ストップ



- 5** プリント終了後、記録紙をカットします。
→P34,「記録紙カットの設定」を参照。

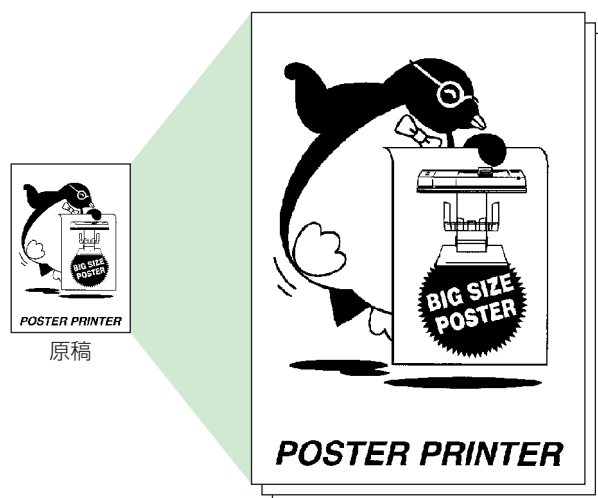
- 自動カット設定の場合、自動でカットされます。
- 手動カット設定の場合、[カット] キーを押して、カットします。



マルチプリント

99枚までのマルチプリントができます。

1枚目は原稿を読み込みながらプリントし、2枚目以降は自動的にプリントします。



5

- 1 [モード] キーを押して、プリントモードを設定します。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
915 ヒョウジ' ユン 01

プリントモードを設定します。

モード

ヒョウジ' ユン
シャシン
ハンテン



- 2 記録紙の種類、拡大サイズ、原稿濃度を設定します。

→P31,「記録紙種類の設定」を参照。

→P32,「拡大サイズの設定」を参照。

→P33,「原稿濃度の設定」を参照。

カンネツシ・テンシャシのいずれかを設定します。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
915 ヒョウジ' ユン 01

拡大サイズが表示されます。

機能選択



原稿濃度に合わせて数値を設定します。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
915 ヒョウジ' ユン 01

機能選択



- 3 記録紙のカット方法を設定します。
「記録紙カットの設定」で自動カットまたは手動カットのいずれかを設定します。

→P34,「記録紙カットの設定」を参照。

ジドウ・シユドウいずれかを設定します。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
A1 ヒョウジ' ユン 01

機能選択



自動カット設定の場合：一枚毎にプリント終了後、自動的にカットします。

手動カット設定の場合：設定した枚数を連続でプリントします。

- 4 [プリント枚数] キーを押して、枚数を設定します。
[プリント枚数] キーを押す毎に1カウントアップします。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
915 ヒョウジ' ユン 01

プリント枚数を設定します。

プリント枚数



！注意

枚数入力が誤った場合は、[クリア] キーを押して、再度、プリント枚数を設定してください。

5 原稿をセットし、[スタート/ストップ] キーを押します。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
915 ヒョウジ' ユン 10

プリント枚数を設定します。

スタート
/ストップ

① 注意

マルチプリント可能な原稿はA4サイズのみです。
部分拡大プリント、分割プリント、長尺プリント
では、マルチプリントはできません。

6 原稿を読み込みながら、1枚目をプリントします。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
915 ヒョウジ' ユン 1/10

1枚目をプリント中です。

7 記録紙カットを自動カットに設定している場合は：

1枚目のプリントをカットし、2枚目以降のプリント
をスタートします。

自動カット設定。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
915 ヒョウジ' ユン 2/10

記録紙カットを手動カットに設定している場合は：

記録紙のカットは行なわず、設定した枚数を連続し
てプリントします。

手動カット設定。

□カンネツシ シュ' ト' ウ 3
915 ヒョウジ' ユン 01

プリント終了後は初期画面を表示します。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
915 ヒョウジ' ユン 01

① 注意

プリント中にエラー表示（用紙なし、カバーオー
プンなど）した場合は、プリントが停止します。
エラー解除後にプリントを再開した場合は、停止
した枚数の先頭部分からプリントを開始します。

マルチプリント機能での取り扱い注意

- ① 印字途中にエラー表示（用紙なし、カバーオープンなど）した場合は印字が停止し、表示画面に「プリントカイシ→スタート」/「プリントテイシ→クリア」を表示します。
エラー解除後にプリントを開始する場合は、[スタート/ストップ] キーを押すと、停止した枚数の先頭からプリントを開始します。
プリントを中止する場合は[クリア] キーを押します。
- ② マルチプリントができる原稿はA4サイズのみです。ただし、A4サイズの原稿でも分割プリントではマルチプリントはできません。
- ③ 部分拡大機能ではマルチプリントはできません。
- ④ マルチプリント中に[スタート/ストップ] キーを押すと、プリントを中止し、プリント枚数の設定は、クリアされます。

機能設定モード

機能設定は印字機能の設定や印字条件の設定を行なうことができます。

表示項目	機能設定項目	設定内容	参照ページ
キロクシシュルイ	記録紙種類の設定	印字する記録紙の設定を行ないます。	P31
カクダイサイズセッテイ	拡大サイズの設定	プリントの拡大サイズを設定します。	P32
ゲンコウノウドセッテイ	原稿濃度の設定	原稿の濃度を設定します。	P33
ブブンカクダイ	部分拡大機能の設定	原稿の一部を拡大印字する機能を設定します。	P31
カットセンタク	記録紙カットの設定	印字終了後に記録紙のカット方法を設定します。	P34
ジョウケンセッテイモード	条件設定方法	印字機能の設定、印字調整を行ないます。	P39
ネットワークセットアップ	ネットワークの設定	ネットワークを設定します。	P35

機能設定項目の選択方法

機能設定を行なう場合は、記録紙をセットしてください。
設定が間違った場合は「クリア」キーを押して再度設定してください。

1 初期画面で、[機能選択] キーを押します。

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
915 ヒョウジ' ユン 01



2 [機能設定モード] が起動し、記録紙設定画面を表示します。

記録紙設定画面

キロクシ シュルイ' ジ' ッコウ
カンネツシ H

カンネツシ・テンシヤシのいずれかを設定します。



3 [機能選択] キーを押して、「機能設定項目」を選択します。

カクタ' イサイズ' セッテイ' ジ' ッコウ

キロクシシュルイ
カクダイサイズセッテイ
ゲンコウノウドセッテイ
ブブンカクダイ
カットセンタク
ジョウケンセッテイモード
ネットワークセットアップ



4 [実行] キーを押して、設定項目を選択します。

カクタ' イサイズ' セッテイ' ジ' ッコウ
915 ヒョウジ' ユン



5 各機能設定後、[機能選択] キー、[クリア] キーを押して、初期画面に戻ります。

カクタ' イサイズ' セッテイ' ジ' ッコウ
915 ヒョウジ' ユン

カクタ' イサイズ' セッテイ' ジ' ッコウ

□カンネツシ シ' ト' ウ 3
915 ヒョウジ' ユン 01

設定した内容が表示されます。



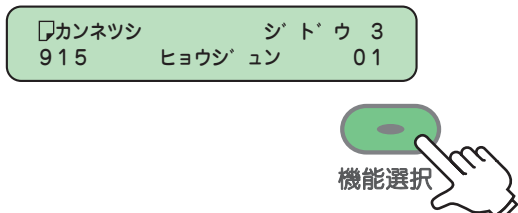
6 各機能の設定詳細は、下記をご参照ください。

キロクシシュルイ → P31, 記録紙種類の設定
カクダイサイズセッテイ → P32, 拡大サイズの設定
ゲンコウノウドセッテイ → P33, 原稿濃度の設定
ブブンカクダイ → P31, 部分拡大機能の設定
カットセンタク → P34, 記録紙カットの設定
ジョウケンセッテイモード → P39, 条件設定方法
ネットワークセットアップ → P35, ネットワークの設定

記録紙種類の設定

PP5000WIDEにセットする記録紙の種類に設定します。
記録紙は、直接感熱紙(カンネツシ)、熱転写紙(テンシャシ)があります。
設定されていない場合は、最適なプリントが得られません。

- 1 初期画面で、[機能選択] キーを押します。



- 2 記録紙設定画面を表示します。
[実行]キーを押して、セットする記録紙を選択します。



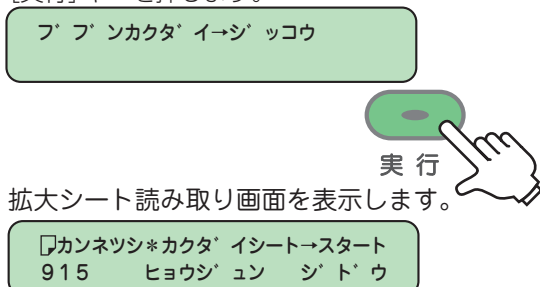
※注) HDペーパーは販売終了商品です。

部分拡大機能の設定

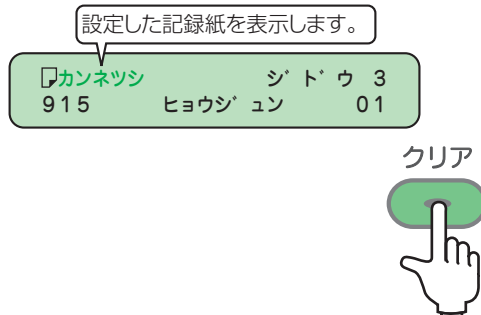
- 1 初期画面で、[機能選択] キーを4回押します。



- 2 部分拡大機能の画面を表示します。
[実行]キーを押します。



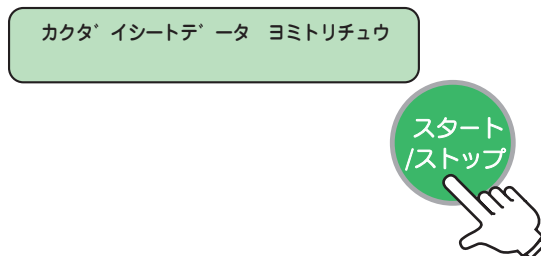
- 3 [クリア] キーを押して、初期画面に戻ります。



- 3 拡大シートを作成し、[スタート/ストップ] キーを押して、拡大シートを読み取ります。

→P22,「拡大シートの作り方」を参照。

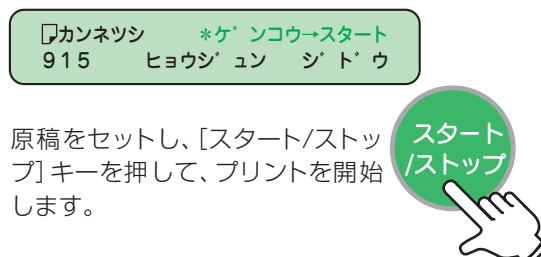
拡大シート読み取り画面



- 4 拡大シート読み取り後、原稿読み取り画面を表示します。

→P20,「部分拡大プリント」を参照。

原稿読み取り画面

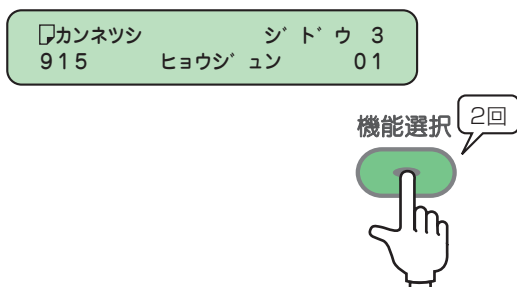


拡大サイズの設定

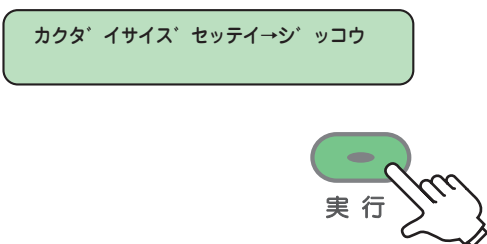
プリントの拡大サイズを設定します。
記録紙のサイズにより、拡大サイズの設定が異なります。

記録紙サイズ	拡大サイズ
A2	A2→B3
A1	A1→B2→A2→A0×2(■)→A0×2(■)
B1	B1→A1→B2→A2→B0(■)→B0(■)
915	915→A0→B1→A1→B2

1 初期画面で、[機能選択] キーを2回押します。



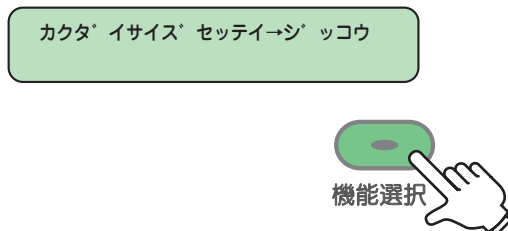
2 拡大サイズ設定画面を表示します。
[実行] キーを押します。



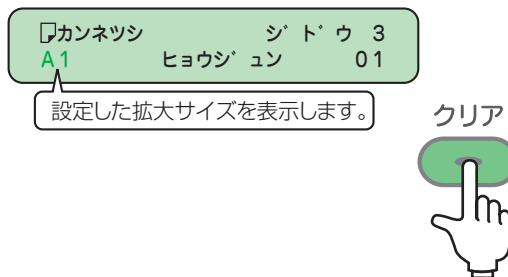
3 拡大サイズ選択画面を表示します。
[実行] キーを押して、拡大サイズを設定します。



4 拡大サイズ設定後、[機能選択] キーを押します。
拡大サイズ設定画面を表示し、設定内容がメモリーされます。



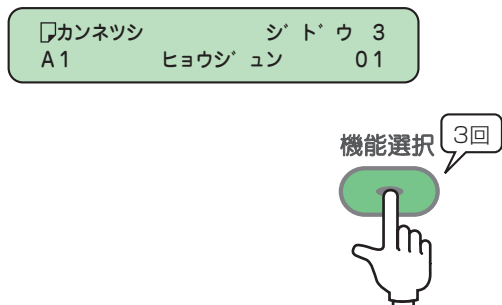
5 [クリア] キーを押して、初期画面に戻ります。



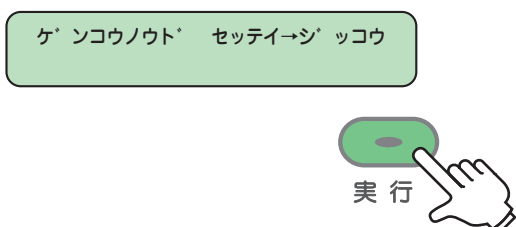
原稿濃度の設定

原稿の濃淡に合わせて、5段階にプリント濃度を設定します。

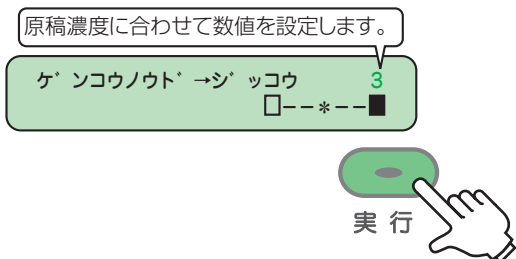
- 1 初期画面で、[機能選択] キーを3回押します。



- 2 原稿濃度設定画面を表示します。
[実行] キーを押します。



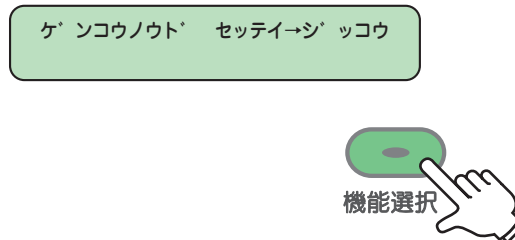
- 3 原稿濃度設定画面を表示します。
[実行] キーを押して原稿濃度を設定します。



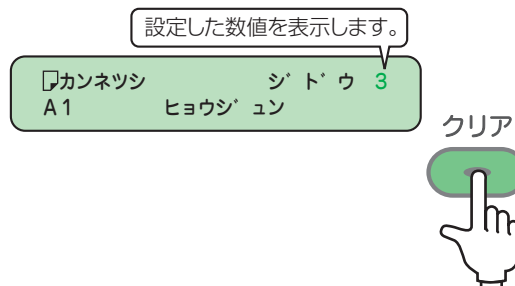
❗ 注意

- 数値が大きいほどプリント濃度は薄くなります。

- 4 原稿濃度設定後、[機能選択] キーを押します。
原稿濃度設定画面を表示し、設定内容がメモリーされます。



- 5 [クリア] キーを押して、初期画面に戻ります。



6

プリント濃度の設定は、5段階の濃度に設定できます。

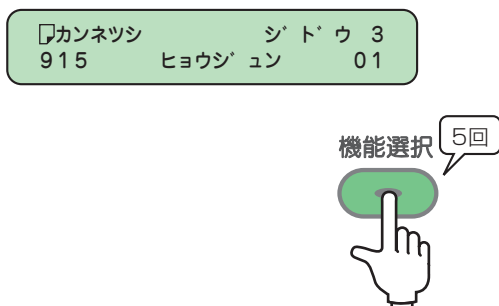
原稿濃度設定数値	原稿濃度	LCD表示部
1	うすい	□ * - - - - ■
2	ややうすい	□ - * - - - ■
3	ふつう	□ - - * - - ■
4	ややこい	□ - - - * - ■
5	こい	□ - - - - * ■

- : 淡い原稿を濃目にプリント
■ : 濃い原稿を薄目にプリント

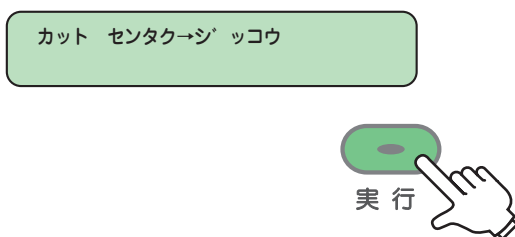
記録紙カットの設定

プリント終了後のカッター動作を自動カット、手動カットのいずれかに設定します。

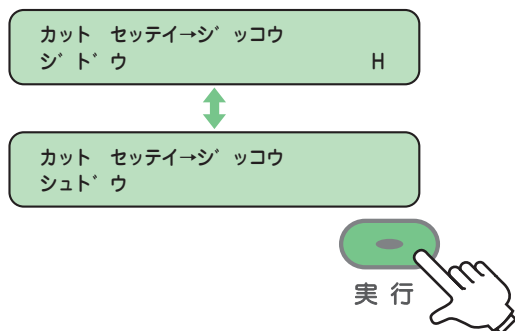
- 1** 初期画面で、[機能選択] キーを5回押します。



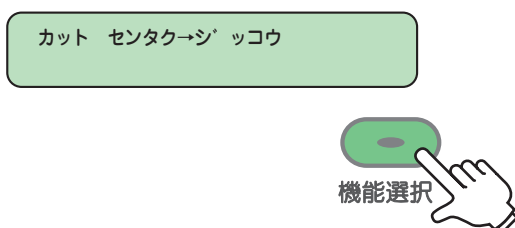
- 2** 記録紙カット設定画面を表示します。
[実行] キーを押します。



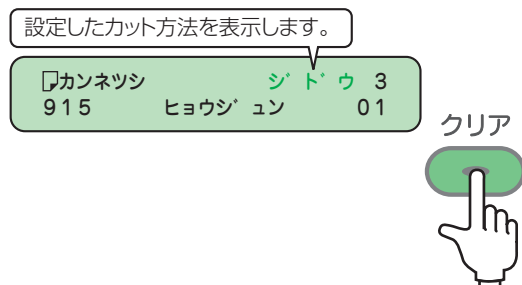
- 3** カット選択画面を表示します。
[実行] キーを押して、「ジ'ト'ウ」または、「シ'ュ'ド'ウ」のいずれかを設定します。



- 4** カット設定後、[機能選択] キーを押します。
カット設定画面を表示し、設定内容がメモリーされます。



- 5** [クリア] キーを押して、初期画面に戻ります。



① 注意

- プリント開始前にカッターが右端の定位置にあることを確認してください。
- カッター動作中にカット不良などで停止した場合は、カッターの下部を持って、右側の定位置に移動してください。
- カッター動作中はカッター移動部分に指や異物を置かないでください。けがや故障の原因になります。

用紙の手動カットと自動カット

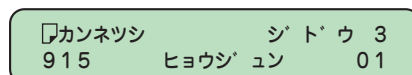
■ 手動カット

プリント終了後、用紙はカットされません。
[カット] キーを押して、記録紙をカットします。



■ 自動カット

プリント終了後、自動で記録紙をカットします。

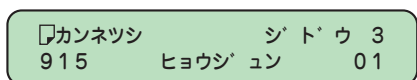


■ ネットワークの設定

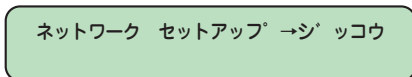
PP5000WIDEは、LANでネットワークプリンタとして共有できます。
ネットワークの設定は、自動設定と手動（マニュアル）設定が行なえます。
設定後は電源を切ってください。設定値が記憶されます。
工場出荷時は自動設定になっています。

1.自動設定 ※（DHCPサーバがある場合） ※ DHCP：自動的にIPアドレスを割り振る機能

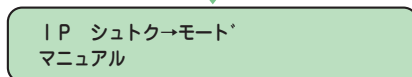
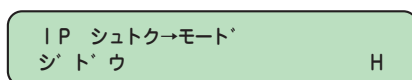
1 初期画面で、[機能選択] キーを7回押します。



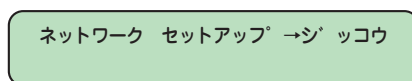
2 ネットワークセットアップ画面を表示します。
[実行] キーを押します。



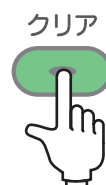
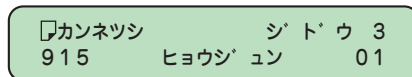
3 ネットワーク自動/手動設定画面を表示します。
[モード] キーを押して、ジドウを表示します。



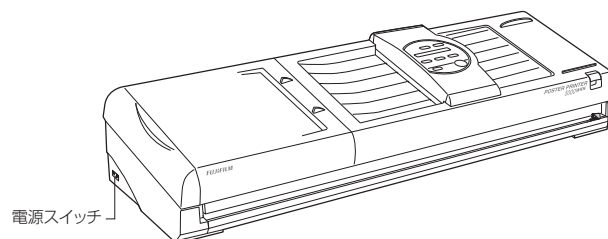
4 ネットワーク設定後、[機能選択] キーを押します。
ネットワークセットアップ画面を表示します。



5 [クリア] キーを押して、初期画面へ戻ります。



6 電源を切ります。
設定後は必ず電源を切ってください。
電源をOFF/ONすることで、ネットワークが設定されます。



❶ 注意

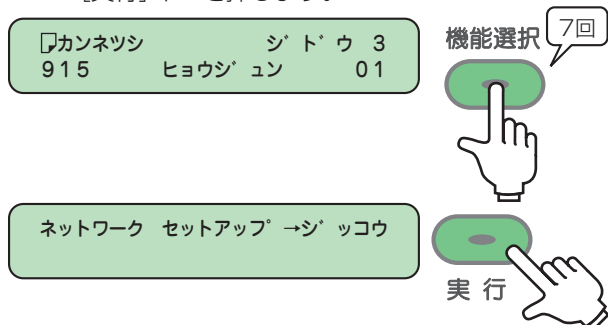
- DHCP環境について不明な場合は、ネットワーク管理者にお尋ねください。

2. 手動設定 (マニュアル)

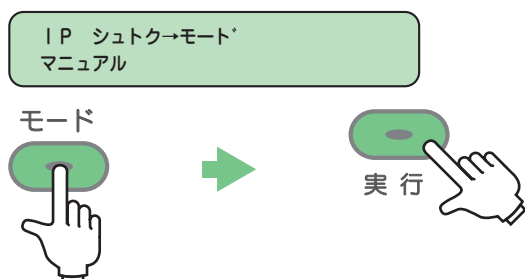
手動設定を行なうのは、DHCPサーバがない場合、固定IPアドレスで使用する場合に手動設定を行ないます。

- 1** 初期画面で[機能選択]キーを7回押して、ネットワークセットアップ画面を表示します。

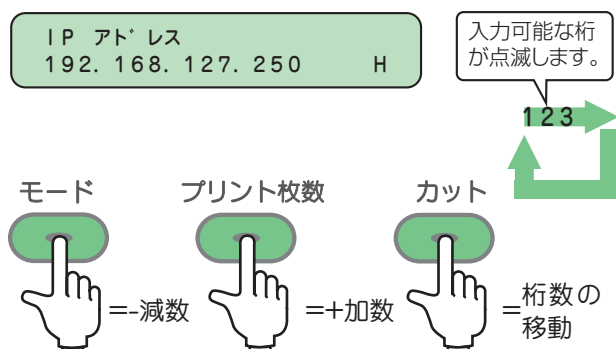
[実行]キーを押します。



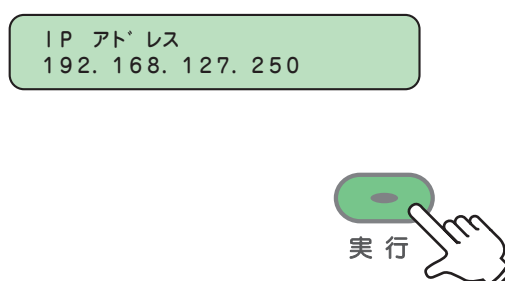
- 2** 「ネットワーク設定」画面を表示します。
[モード]キーを押して、マニュアルを選択します。
[実行]キーを押します。



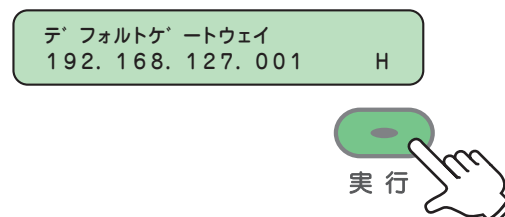
- 3** 「IPアドレス」入力画面を表示します。
IPアドレスの数値を入力します。



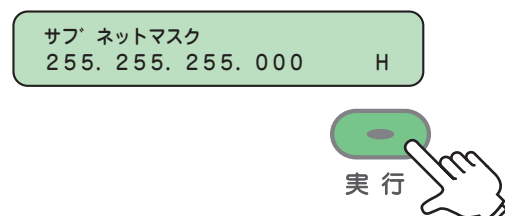
- 4** 「IPアドレス」画面で数値入力後、[実行]キーを押します。



- 5** 「デフォルトゲートウェイ」入力画面を表示します。
デフォルトゲートウェイ数値を入力します。
設定・入力は **3** を参照してください。入力後、[実行]キーを押します。



- 6** 「サブネットマスク」入力画面を表示します。
サブネットマスク数値を入力します。
設定・入力は **3** を参照してください。入力後、[実行]キーを押します。



- 7** 「MACアドレス」画面を表示します。
MACアドレスの数値入力はできません。
[実行] キーを押します。

MAC アドレ ス
00. 01. 09. A1. 23. 2F



- 8** 「ネットワーク設定」画面を表示します。
[機能選択] キーを押します。

IP シュトク→モード
マニュアル



- 9** ネットワークセットアップ画面を表示します。
[クリア] キーを押します。

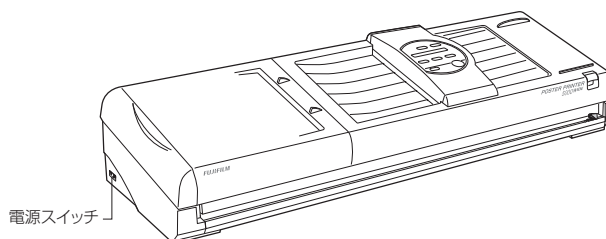
ネットワーク セットアップ → シ ッコウ



- 10** 初期画面に戻ります。

☐カネツシ ジ ト ウ 3
915 ヒョウジ ユン 01

- 11** 電源を切ります。
設定後は必ず電源を切ってください。
電源をOFF/ONすることで、ネットワークが設定
されます。



①注意

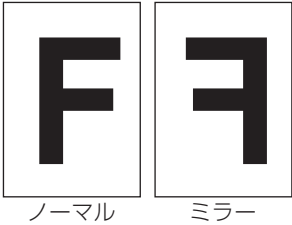
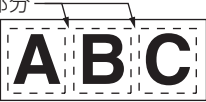
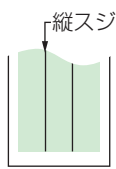
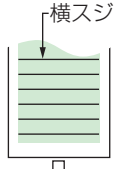
- DHCP環境について不明な場合は、ネットワーク管理者にお尋ねください。

①注意

- ネットワークの設定についての問い合わせは
下記に連絡願います。
サポートセンター：0120-645-504
月曜日～金曜日
10：00～12：00 13：00～17：00
(土日祝日、夏季休暇、年末年始を除く)

条件設定項目及び内容

本体の条件設定項目を変更することにより、印字機能の変更や印字品質の調整を行なうことができます。

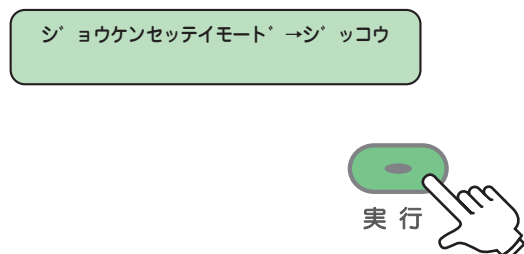
設定項目／機能	LCD表示内容
通常のプリントを鏡に写したイメージ(ミラー)でプリントされます。  ノーマル ミラー	ガ` ソ` ウムキ→モード` ノーマル H ノーマル 正像でプリントします。(通常のプリント) ミラー 左右反転(鏡像)でプリントします。 初期値はノーマルに設定してあります。
複数のシート原稿から横断幕や懸垂幕を作成する場合に、ページ間にできる空白(ギャップ)を無くしたプリントができます。 原稿   余白部分  ナシ アリ ①注意 ■ページ間ギャップ無しを選択した場合には、カットマークは印字されません。 ■ページ間ギャップ無しを選択した場合には、自動カットしません。 プリント終了後、記録紙【フィード】キーを押して、記録紙を送ってから【カット】キーを押して、記録紙をカットしてください。	ペ` ー` ジ` キ` ャ` ッ` プ` →モード` アリ H ナシ ページ間ギャップ無しでプリントします。 アリ ページ間ギャップ有りでプリントします。 初期値はアリに設定してあります。
プリント画像に縦方向のスジが目立つ場合に調整できます。 濃いめのスジが目立つ場合は、[モード]キーを押して値を減らすようにし、また白抜けしたようなスジが目立つ場合は、[原稿濃度]キーを押して値を増やすようにしてください。 但し、本体の機構上、スジを完全に無くすことは難しい場合があることをご了承ください。  縦スジ ↓ プリント方向	タテスジ`    チョウセイ→モード` 0 (−4−+4) H −4 . . . +0 . . . +4 最小値 中心値 最大値 9段階 初期値は+0付近に設定してあります。
プリント画像に横方向のスジが目立つ場合に調整できます。 濃いめのスジが目立つ場合は、[モード]キーを押して値を減らすようにし、また白抜けしたようなスジが目立つ場合は、[原稿濃度]キーを押して値を増やすようにしてください。 但し、本体の機構上、スジを完全に無くすことは難しい場合があることをご了承ください。  横スジ ↓ プリント方向	ヨコスジ`    チョウセイ→モード` +1 (−8−+8) H −8 . . . +0 . . . +8 最小値 中心値 最大値 17段階 初期値は+0付近に設定してあります。
サーマルヘッドに付加する印字パワーを±9段階で調整できます。 [モード]キーが(−)、[原稿濃度]キーが(+)で、押すごとに1段階ずつ設定できます。	インシ` パ` ワー→モード` −3 (−9−+9) H −9 . . . +0 . . . +9 最小(薄) 中心値 最大(濃) 19段階 初期値は+0に設定してあります。

条件設定方法

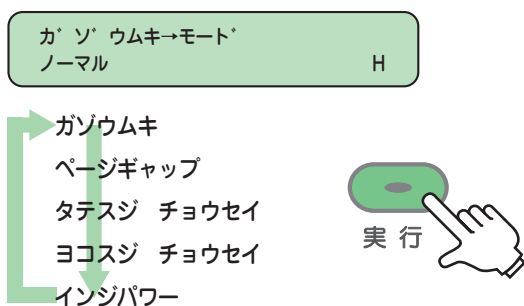
- 1** 初期画面で、[機能選択] キーを6回押します。



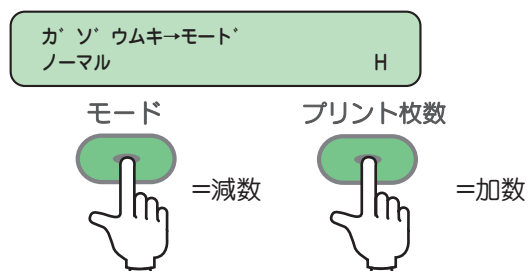
- 2** 条件設定画面を表示します。
[実行] キーを押します。



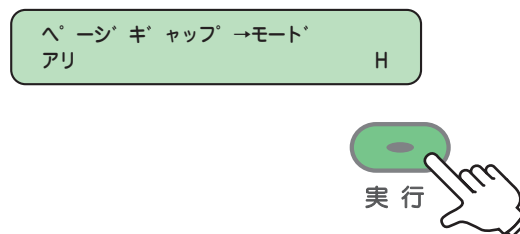
- 3** 条件設定画面を表示します。
[実行] キーを押して、条件設定項目を選択します。



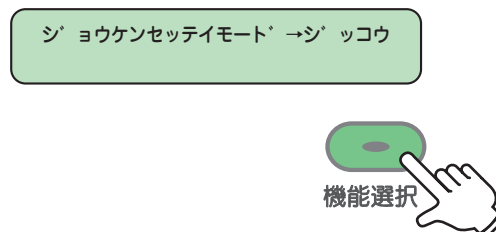
- 4** 各設定画面で、[モード] キーと [プリント枚数] キーを押して、設定内容及び調整値を入力します。



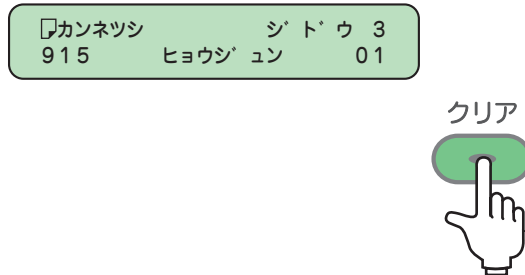
- 5** 他の条件設定行なう場合、[実行] キーを押して、他の項目を選択し、**3** ~ **4** を繰り返します。



- 6** 条件設定後、[機能選択] キーを押します。
条件設定画面を表示し、設定内容がメモリーされます。



- 7** [クリア] キーを押して、初期画面に戻ります。





記録紙について

種類と特長

直接感熱紙・熱転写紙の2種類の記録紙が使用できます。

直接感熱紙

- ポスター、説明用フリップ、横断幕などが簡単に手軽に作成できる低価格な用紙です。室内用掲示に適しています。

熱転写紙

- プリント後、インクフィルムをはがすと高品質のプリント画像が得られます。
- 普通紙タイプですので、画像の変色が少なく長期の掲示に適しています。
- 油性マーカーによる色付けが行なえ、ラミネート加工も可能です。

種類/サイズ一覧

種類	色 種		サイズ（記録紙幅×長さ）			
	地色（紙の色）* ¹	発 色* ²	9 1 5	B 1	A 1	A 2
直接感熱紙	白	黒	915mm×30.3m (915で約23枚)	728mm×30.3m (B1で約29枚)	594mm×30.3m (A1で約35枚)	420mm×30.3m (A2で約49枚)
		レッド		728mm×30.3m★ (B1で約29枚)		420mm×30.3m★ (A2で約49枚)
		ブルー				
	ライトブルー(LB)* ³	黒			594mm×30.3m★ (A1で約35枚)	
	ピンク(P)* ³					
	イエロー(Y)* ³					
熱転写紙	白	黒	915mm×26m (915で約19枚)	728mm×26m (B1で約24枚)	594mm×26m (A1で約30枚)	420mm×26m (A2で約42枚)
		レッド* ⁴	915mm×26m (915で約19枚)		594mm×26m (A1で約30枚)	
		ブルー* ⁴				

*¹ 地色とは、紙の色のことです。白の他、ライトブルー (LB)・ピンク (P)・イエロー (Y) が揃っています。

*² 発色とは、プリント時に熱を加えることによって現れる色のことをいいます。

*³ 記録紙は、A1サイズのみです。

*⁴ 記録紙は、915・A1サイズのみです。

※：上記一覧表は2012年1月現在のものです。★印の製品に関しましては、在庫がなくなり次第終了となります。

取扱上のご注意

各記録紙共通

- 高温の場所に置かないでください。変色することがあります。
- 開封した状態で高湿や低湿の場所及びゴミや埃の多い場所に置かないでください。
記録紙が伸びたり縮んだりして、本体にセットできなくなることがあります。また、ゴミ、埃がサーマルヘッドに付着して印字不良が生じる場合があります。
- 開封した状態では記録紙の袋に入れて日光の当たらない場所に保管してください。変色することがあります。
- プリントした用紙にシワや折り曲げ跡を付けないでください。プリント画像が剥離することがあります。

直接感熱紙

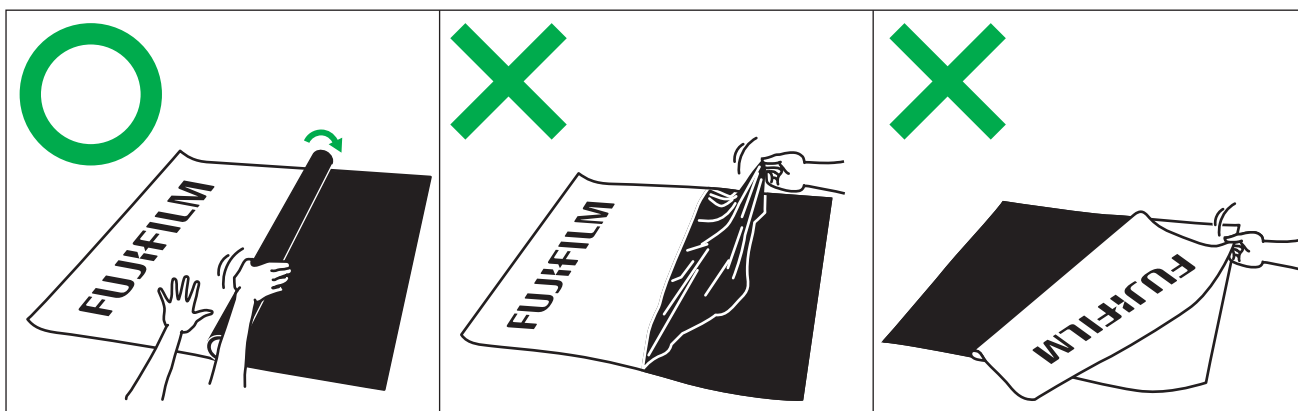
- 貼り出す場合は、直射日光を避けてください。変色したり退色することがあります。
- 色付けする場合は、水溶性の顔料マーカーを使用してください。
(例：ユニボスカ、プロッキー、ポップメイト等)
- 溶剤や蛍光剤の入ったもの(塩化ビニール製のホルダやプラスチック消しゴム等)は記録部を、退色させますので使用しないでください。
- プリント面をかたいもので強くこすらないでください。発色することがあります。

熱転写紙/HDペーパー[※] (横断幕用)

- 油性マーカーによる色付けができます。
但し、プリント部分に溶剤の入ったペンやマーカーを使用すると、転写されたインクが溶かされ色が濁る場合があります。
- インクフィルムのはがし方に注意してください。はがし方は下の図をご覧ください。
- 高温の場所に置かないでください。インクがペーパーに転写して地かぶりが発生することがあります。

熱転写紙とHDペーパー[※] のインクフィルムのはがし方

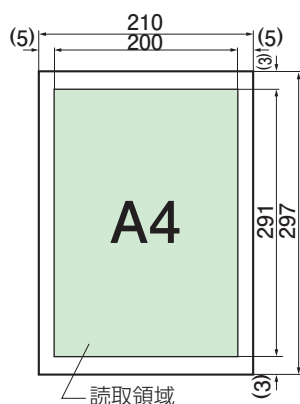
机の上などの平らな場所で紙を押えながら、記録紙の筒などでインクフィルムを水平方向に巻き取って、ゆっくりはがしてください。



※注) HDペーパーは販売終了商品です。

読み取り/プリント領域

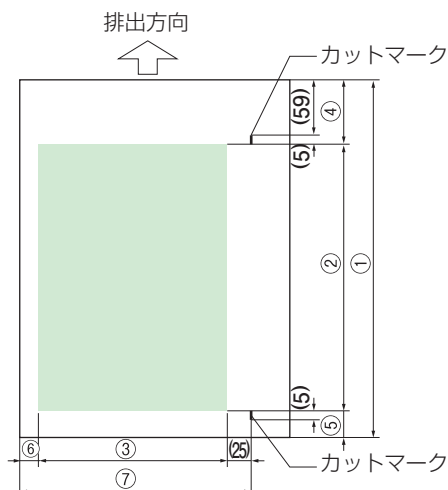
読み取り可能領域(原稿はA4サイズ)



プリント可能領域

記録紙のサイズより小さいサイズの拡大サイズを選択した場合、自動的にカットマークを印字します。

ただし、本体の条件設定でページ間ギャップ「ナシ」を選択した時、または、一部の拡大サイズでは印字しない場合があります。



記録用紙のサイズ	拡大サイズ	①紙の長さ	②プリント長	③プリント幅	④先端余白	⑤後端余白	⑥左端余白	⑦カットマーク位置
915	B2	742	665	468	64	(17)	23	516
	A1	861	784	549	64	(17)	23	597
	B1	1047	970	680	64	(17)	23	728
	A0	1209	1132	790	64	(17)	23	838
	915	1314	1237	865	64	(17)	23	-
B1	A2	614	537	375	64	(17)	23	423
	B2	742	665	468	64	(17)	23	516
	A1	861	784	549	64	(17)	23	597
	B1	1047	970	680	64	(17)	23	-
	B0(左)	1540	1463	520	64	(17)	23	535
	B0(右)	1540	1463	520	64	(17)	185	190
A1	A2	614	537	375	64	(17)	23	423
	B2	742	665	468	64	(17)	23	516
	A1	861	784	549	64	(17)	23	-
	A0x2(左)	1622	1545	549	64	(17)	23	564
	A0x2(右)	1622	1545	549	64	(17)	25	30
A2	B3	529	452	318	64	(17)	23	366
	A2	614	537	375	64	(17)	23	-

※表値は標準的な寸法です。記録紙の種類・モード・環境などにより若干変動します。

(単位：mm)

※拡大時の記録領域は、±1.5%程度になります。

こんなメッセージが表示されたら

エラーメッセージの内容と対応

メッセージ表示部にエラーメッセージが表示されたら、内容に従い処置をしてください。
処置を行なっても正常に動作しない場合は、メッセージを控えて販売店にご連絡ください。

エラーメッセージ	内 容	処 置
ゲ' ンコウナシ マタハ ハンソウフリョウ リセット→ストップ キー	原稿の引き込みを開始した後、一定時間内に 原稿の先端部分を検出しない時に表示しま す。	[スタート/ストップ]キーを押すと初期画面に 戻ります。再度、原稿をセットして[スタート/ ストップ]キーを押してください。
ゲ' ンコウシ' ャム	スキャナー部に原稿が詰まった場合に表示しま す。	スキャナーカバーを開け、原稿を取り除いてく ださい。
スキャナカバ' - オーフ' ン	スキャナーカバーが開いているときに表示しま す。	スキャナーカバーをしっかりと閉めてください。 スキャナーカバースイッチが変形していないか 確認してください。(P47参照)
プ' リンターカバ' - オーフ' ン	プリンターカバーが開いているときに表示しま す。	プリンターカバーの両端を持って、しっかりと閉 めてください。
キロクヨウシ' ナシ	記録紙がセットされていないときに表示します。 記録紙のセットが悪いときに表示します。	記録紙をセットしてください。 記録紙のセットをやり直してください。
サーマルヘッ' オント' オーバ' -	サーマルヘッドの温度が高温になり過ぎたとき に表示します。	電源スイッチを切って、3分以上経ってから、 再度、電源スイッチを入れてください。
シャトルト' ウサ エラー	電源投入時または、エラー復帰後、シャトルユ ニットがホームポジションを検出できないとき に表示します。	電源スイッチを切って、シャトルシャフトを清 掃し、シャトルユニットをホームポジション (右側)に指でずらしてください。 その後、再度、電源スイッチを入れます。
リリスト' ウサ エラー	機械が異常の場合に表示します。	電源スイッチを切って、再度、電源スイッチを入 れてください。 もし処置を行なっても正常に動作しない 場合は販売店にご連絡ください。 なお、連絡する際には、表示されたエラー メッセージを併せてお知らせください。
EEPROM サム エラー		
EEPROM リート' /ライト エラー		
システムエラー		
カクタ' イシート ハンソウ フリョウ リセット→ストップ キー	拡大シートの搬送を開始した後、一定時間内に 拡大シートを検出しないときに表示します。	拡大シートを取り除き、[スタート/ストップ] キーを押して、再度、拡大シートを読み込んでく ださい。
タイムアウト リセット→ストップ キー	拡大シートの読み取り領域を検出しないときに 表示します。	拡大シートの線が薄いなどが原因していますの で、拡大シートを確認し、再度、読み取りをし てください。拡大シートの作り方は、P22を参照し てください。
カッターイチ イシ' ヨウデ' ス カッターヲ ミキ' ニモト' ス	カッターが定位置にない場合に表示します。	カッターを右端の定位置に移動してください。
ヨミトリハンイ デ' ータ エラー リセット→ストップ キー	拡大シートに描かれた枠線が仕様外の場合に 表示します。	拡大シートに描いた線の太さ、濃さ、線が閉じ ているか、拡大領域等を修正してください。
カッター エラー	カット動作不良の場合に表示します。	[クリア]キーを押してください。

正常に動作しないときには

使用中にトラブルが発生した場合には、内容に従い処置をしてください。
処置を行っても正常に戻らないときには販売店にご連絡ください。

トラブルの内容及び対応

No.	状 態	処 置	参考頁
1	電源スイッチを入れても動かない	・電源コードが正しく接続されているか確認してください。	P3
2	プリント画像にスポット状またはスジ状のムラが発生する		
	1)縦スジが発生する場合 	・スキャナー部のブラテンガラスを清掃してください。 ・サーマルヘッド間で縦スジが目立つ場合には、条件設定項目及び内容の「縦方向のスジの調整」を行なってください。	P47 P38
	2)横スジが発生する場合 	・サーマルヘッドを清掃してください。 ・約20mm間隔で横スジが目立つ場合には、条件設定モードの「横方向のスジの調整」を行なってください。	P46 P38
	3)所々に白スジが入る場合 	・記録紙が本体に曲がってセットされていないか確認してください。 ・フランジガイドユニットが正しくセットされているか確認して下さい。	 P14
	4)周期的にスポット状の白抜けが発生する場合 	・プラテングムの表面にゴミまたは浮きがないか確認してください。 ・プラテングムの表面を清掃してください。	 P46
	5)プリント画像の左側部分が印字されない場合 	・プリンターカバーが正しく閉じていません。プリンターカバーの左側が浮いている可能性があります。 1度カバーを開け、カバーの両端を持ってしっかりと閉めてください。	 P14
3	プリント画像が曲がったり、歪んだりして乱れる	・原稿が曲がってセットされていないか確認してください。 ・スキャナーカバー、プリンターカバーが浮き上がっていないか確認してください。 ・記録紙が曲がってセットされていないか確認してください。 ・原稿フィードローラ、記録紙フィードローラが汚れている場合は清掃してください。	P17 P14 P14 P46 P47
4	プリント画像がとれない（真っ白）	・記録紙が逆向きでセットされていないか確認してください。 ・原稿面を上向きにしてセットしていないか確認してください。	P14 P17
5	プリント画像がカスレる	・原稿濃度の設定を「うすい」にするとカスレは少なくなります。 ・原稿自体の画像が薄すぎる場合には、濃い原稿に換えてください。 ・本体にセットされている記録紙と記録紙の種類の設定が合っているか確認してください。	P33 P31
6	記録紙をセットするとき、フランジガイドに入らなかったり、外れてしまう	・湿度により記録紙が伸びたり、縮んだりします。記録紙の幅に合わせてフランジガイドユニットの調整つまみで調整するか、新しい記録紙と交換してください。	P15

No.	状 態	処 置	参考頁
7	プリント画像がツブレる	・原稿濃度の設定を「こい」にするとツブレは少なくなります。	P33
		・原稿自体の画像が濃すぎる場合には、薄い原稿に交換してください。	
		・本体にセットされている記録紙と記録紙種類の設定が合っているか確認してください。	P31
8	プリント(記録紙)が出てこない	・プリンターカバーを開けて、記録紙がフィードローラに巻き付いていないか確認してください。 ・フランチガイドユニットが正しくセットされているか確認してください。	P14
9	[スタート/ストップ]キーを押してもプリント動作を開始しない	・原稿を突き当たるまで奥に差し込んでください。	P17
		・透過性の原稿の場合は動作しません。 普通紙にコピーをして使用してください。	
		・メッセージ表示部にエラーメッセージが表示されているか確認してください。	P43
10	プリント画像の余白部分に汚れが出る	・サーマルヘッドを清掃してください。	P46
		・スキャナー部のプラテンガラスを清掃してください。	P47
11	原稿ジャムが発生する (エラーが点灯し、「ゲンコウジャム」のメッセージが表示される)	・スキャナーカバーを開け、原稿を取り除いてください。	P43
		・スキャナーカバーが浮き上がっていないか確認してください。 ・再度発生する場合、原稿のセットが正常か確認して再セットしてください。	P17
12	プリント動作が遅い (メッセージ表示部に「テイソクモード ドウサチュウ」と表示されている)	・黒色部分の多い原稿や反転モードの場合、サーマルヘッドが高温になるとプリント動作は自動的に低速になります。 異常ではありませんので、そのままご使用ください。	P19
13	記録紙の裏側に黒い帯がでる	・直接感熱紙の場合のみ、エンドマークとして黒い帯を印刷してあります。 エンドマークが出たら、記録紙を交換してください。	
14	「ガーガー」と異常音が発生してプリント画像が乱れる。または「シャトルドウサ エラー」をメッセージ表示部に表示している	・シャトルシャフトを清掃してください。 ・シャトルシャフト部の梱包部材を取り除いてください。	P46 P2
15	熱転写紙・HDペーパー [※] で白い泡状のヌケや白いスジが発生する	・本体にセットされている記録紙と記録紙の種類の設定が合っているか確認してください。	P31
16	熱転写紙・HDペーパー [※] でインクシートのシワが異常に多い	・本体にセットされている記録紙と記録紙の種類の設定が合っているか確認してください。	P31
17	プリントがミラーイメージの状態プリントされる	・条件設定モードの「ガゾウムキ」を「ノーマル」に変更してください。	P38
18	メッセージ表示部のコントラストが低い	・操作パネルの保護シートをはがしてください。	P12
19	自動カットしない	・手動モードになっている。	P34
		・条件設定項目のページ間ギャップが「ナシ」になっている。	P38
20	用紙が破れる	・フランチガイドユニットが正しくセットされているか確認してください。 ・水平な場所に置いているか確認してください。 ・専用記録紙(FUJIFILMポスタープリンターペーパー)を使用しているか確認してください。	P14

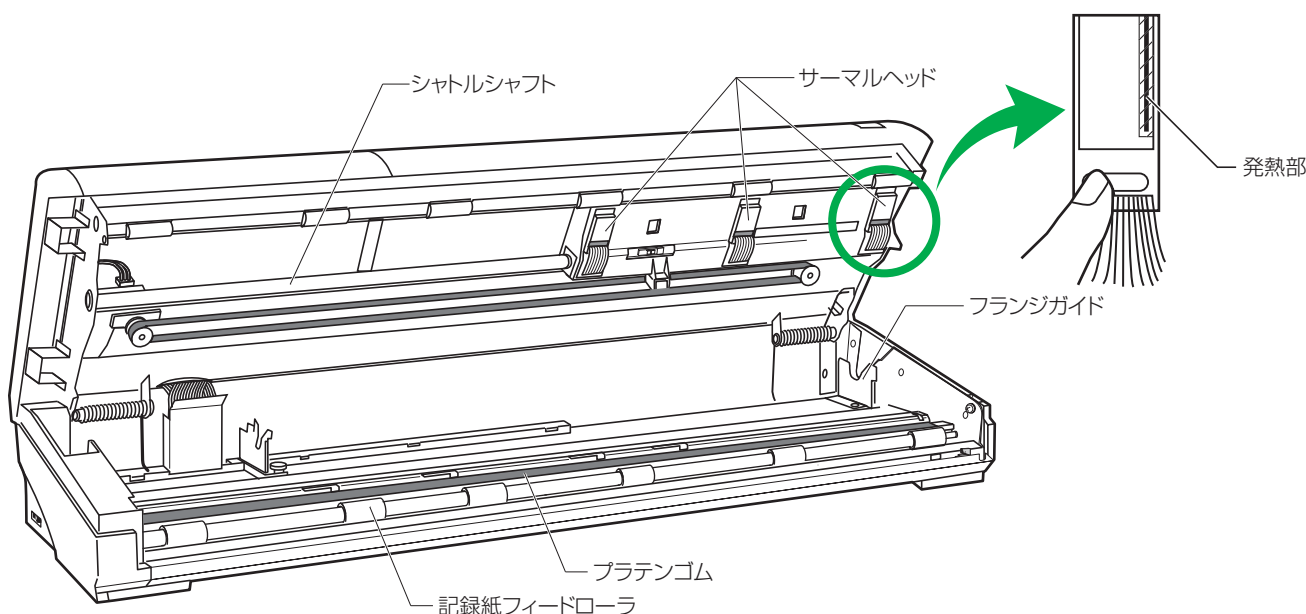
※注) HDペーパーは販売終了商品です。

各部の清掃方法

次のような異常が発生した場合には、手順に従って清掃を行なってください。

異常動作	清掃箇所
1 記録紙が正常に送られない	➡ 記録紙フィードローラ
2 プリント動作中に異常音が発生する	➡ シャトルシャフト
3 プリント画像に周期的に横方向のスジが発生する	➡ サーマルヘッド
4 プリント画像に縦方向のスジが発生する	➡ プラテンガラス
5 原稿が正常に送られない	➡ 原稿フィードローラ/プラテンローラ/原稿排出ローラ

プリンター部



記録紙フィードローラ

やわらかい布に水を含ませて汚れを落とした後、乾拭きします。

プラテンゴム

やわらかい布で乾拭きします。

⚠ 注意

プラテンゴムに傷を付けないようにご注意ください。
また、プラテンゴムの表面をアルコールなどの溶剤で拭かないでください。

シャトルシャフト

シャフトに汚れがたまると動きが重くなり誤動作することがあります。

汚れを丁寧にやわらかい布で拭きとってください。

サーマルヘッド

サーマルヘッドが冷えてから(電源OFF後、2分以上経過してから)発熱部をやわらかい布で乾拭きします。特に汚れがひどい場合は、微量の無水エタノール(薬局で購入できます)を付けて拭いてください。

(発熱部には直接指で触らないでください)

サーマルヘッドは消耗部品です。サーマルヘッドの異物による破損、摩耗を防ぐ為にも、定期的なサーマルヘッドの清掃をお勧めします。また、長期間機械を使用しない場合は、記録紙を取り除いて専用袋に保管してください。

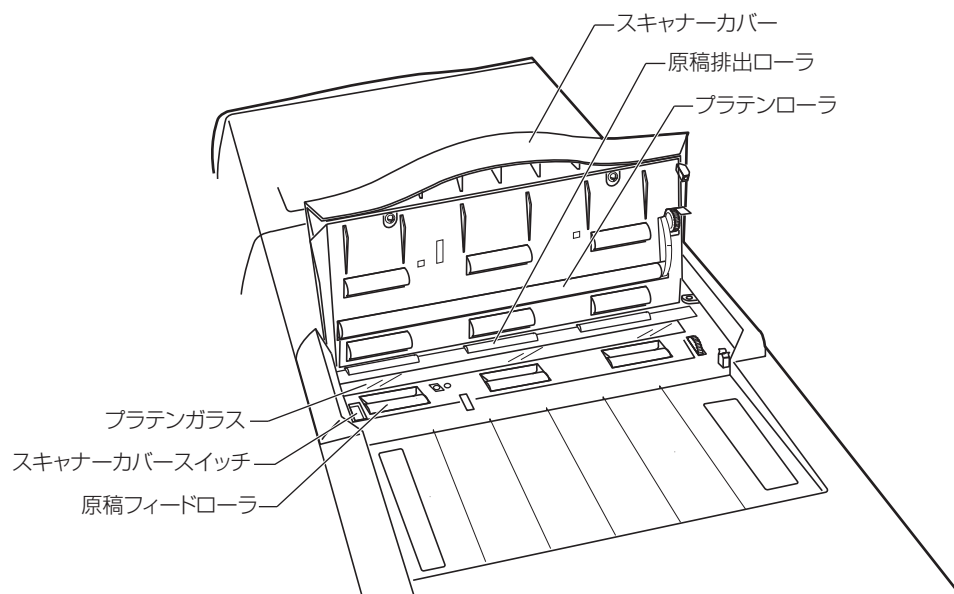
■ スキャナー部

■ プラテンガラス

やわらかい布で乾拭きします。汚れが落ちない場合は、水拭きした後、乾拭きします。

■ 原稿フィードローラ/プラテンローラ/原稿排出ローラ

やわらかい布に水を含ませ汚れを落とした後、乾拭きします。



⚠ 注意

- ⚙ 清掃する場合は必ず、電源プラグを抜いて行なってください。
- ベンジン・アルコール・シンナーなどの有機溶剤やクリーナーは、絶対に使用しないでください。
- サーマルヘッドには、無水エタノール以外は絶対に使用しないでください。
- プラテンゴムは、プリント画像に影響しますので、傷を付けないように注意してください。
- スキャナーカバーの開閉角度は、約70度までです。それ以上は、絶対に開かないように注意してください。

仕 様

形 式	デスクトップタイプ		
読 取 り 方 式	固定式密着イメージセンサ		
読 取 り 解 像 度	15.7ドット/mm (400dpi)		
原 稿 サ イ ズ	A4, 長尺サイズ (2000mmまで)		
原 稿 形 式	シート状, 厚さ: 50~350 μ m		
プ リ ン ト 方 式	感熱記録方式		
プ リ ン ト モ ード	標準, 写真, 反転, オンライン		
部 分 拡 大 機 能	原稿サイズ: 幅210mm, 長さ297~2000mm 拡大指定領域: 幅50~194mm, 長さ50~1988mm		
プ リ ン ト 解 像 度	11.8ドット/mm (300dpi)		
記 録 紙 サ イ ズ	915, B1, A1, A2幅のロール紙		
記 録 紙 の 種 類	専用記録紙 (FUJIFILMポスタープリンターペーパー) 直接感熱紙, 熱転写紙		
記 録 サ イ ズ	B3, A2, B2, A1, B1, A0, 915, B0, A0 $\times$ 2 (B0, A0 $\times$ 2は貼り合わせ) 長尺サイズ (印字長さの目安は、原稿サイズに拡大倍率を掛けた長さ)		
記 録 紙 給 紙 方 法	ロール紙連続給紙		
記 録 紙 カ ッ ト 方 式	自動カット		
プ リ ン タ ー ド ラ イ バ	USBインターフェース...USB2.0対応、Windows2000/XP/Vista(32bit)/Windows7(32bit)対応 LANインターフェース...10Base-T/100Base-TX対応		
プ リ ン ト サ イ ズ 及 び ス ピ ード	拡大サイズ	拡大倍率線倍率)	標準・反転モード
	A2	約1.87倍	約1分13秒
	A1	約2.74倍	約1分39秒
	B1	約3.40倍	約2分43秒
	915	約4.32倍	約4分48秒
ウ ォ ー ム ア ッ プ タ イ ム	10~13秒		
騒 音	約53dB (A)(プリント動作時)		
寸 法 ・ 重 量	約1034(W) $\times$ 314(D) $\times$ 215(H)mm 約17.7kg		
電 源	AC100V $\pm$ 10%, 50/60Hz		
消 費 電 力	待機時:約15W, プリント時:約230W		
使 用 環 境	周辺温度:10~30 $^{\circ}$ C, 相対湿度:20~80%RH		
付 属 品	フランジガイドユニット, フランジ(2個), 電源コード, アダプタ, A1直接感熱紙, 取扱説明書, 基本操作説明書, プリンタドライバCD, USBケーブル 保証書の発行方法について, 連絡先ラベル		
オ プ シ ョ ン	スタンド		
消 耗 部 品	プラテングム, サーマルヘッド, カッター刃		

※記録紙サイズは呼称であり、JIS規格寸法とは若干異なります。

本緒元は改良のため、予告なく変更することがあります。

消耗部品とは、保証期間内に故障が起きた場合に、有償となる部品のことをいいます。

索引

あ	アース線	3	さ	スタート/ストップキー	12
	アース端子	3		清掃方法	46
	IPアドレス	35,36		セットマーク	6,14,26
	アダプタ	2,3		操作パネル	10,12
	インクフィルムのはがし方	41	た	タイミングベルト	11
	印字パワーの設定	38		縦方向のスジの調整	38
	印字面 (内側)	14		長尺原稿	8,27
	インターロックスイッチ	11		長尺プリント	27
	A1サイズ記録紙でのプリント	24		調整つまみ	15
	ACインレット	10		直接感熱紙	9,13,14,31,40,41
	A0×2サイズにプリント	24		DHCPサーバ	35,36
	A1サイズにプリント	26		テープ止め	25
	エラーメッセージ	12,43		電源コード	2,3
	LCD表示部	33		電源スイッチ	3,10,15,16
	「オンライン」表示	12		電源部	10
				トラブル	44
か	開閉レバー	10,14	な	2Pコンセント	3
	拡大サイズ	13,32		熱転写紙	9,13,14,31,40,41
	拡大サイズの設定	30,32		ネットワークの設定	30,35
	拡大サイズ表示部	13		ネットワークの設定 1.自動設定	35
	拡大シート	21,22,23		ネットワークの設定 2.手動設定 (マニュアル)	36
	拡大シートの作り方	22		ネットワークプリンタ	35
	拡大シートの読み取り不良	20	は	発熱部	46
	画像の向き	38		貼り合わせ参考例	25
	カッター	10,15		反転モード	8,13,19
	カットキー	12		標準モード	8,13,16
	カットマーク	25,26,42		ピンチローラ	11
	カットまたは折り曲げ	25		フィード/実行キー	12
	仮止めテープ	25		部分拡大プリント	8,20
	機能設定項目の選択方法	30		部分拡大機能の設定	30,31
	915mmサイズ記録紙でのプリント	26		プラグ	3
	記録紙有無・サイズ検出センサ	11		ブラテンガラス	11,47
	記録紙をセット	14		ブラテンゴム	11,46
	記録紙カット表示部	13		ブラテンローラ	11,47
	記録紙カットの設定	30,34		フランジ	2,14,15
	記録紙種類の設定	30,31		フランジガイド	11,14,15,46
	記録紙の種類表示部	13		フランジガイドユニット	2,11,14,15
	記録紙フィードローラ	11,46		プリンター部	11,46
	機能選択キー	12		プリンターカバー	10,14
	クリアキー	12		プリント出口	10
	原稿ガイド	10		プリント可能領域	42
	原稿セット台	10,11		プリント枚数キー	12
	原稿トレイ	10		プリント枚数表示部	13
	原稿濃度	13,33		分割プリント	24
	原稿濃度設定数値	33		ページ間ギャップ	38
	原稿濃度設定値表示部	13	ま	MACアドレス	37
	原稿濃度の設定	30,33		マルチプリント	9,28
	原稿排出ローラ	11,47		マルチプリント機能での取り扱い注意	29
	原稿フィードローラ	11,47		メッセージ表示部	12
	「コピーできます」表示	12		モードキー	12
さ	サーマルヘッド	7,11,46		モード表示部	13
	サイズラベル	15	や	USBコネクタ	3,9,10
	三角マーク	14		横方向のスジの調整	38
	3Pコンセント	3		読み取り可能領域	42
	自動カット	13,34	ら	LANコネクタ	3,9,10
	写真モード	8,13,18			
	シャトルシャフト	46			
	手動カット	13,34			
	条件設定項目及び内容	38			
	条件設定方法	30,39			
	スキャナー部	11,47			
	スキャナーカバー	10,11,47			